



GVT-126692-001-00 1.3

QX-W1000/W1100 シリーズ アクセスポイント

Anchor-AC Web コンソール操作マニュアル

改版履歴

版数	日付	改版内容
1.0	2020/01	初版発行
1.1	2020/04	・ サポート OS、ブラウザの版数更新
1.2	2022/08	Microsoft Internet Explorer サポート終了に伴い、Microsoft Edge のサポートを追記
1.3	2023/05	・ 「1章 Web コンソール機能の概要」の「1.1 Web コンソールの説明」を更新しました。

All Rights Reserved

事前に NEC の書面による許可なく、本マニュアルをいかなる形式または方法で複製または配布することを禁止します。

商標

本マニュアルに記載されているその他の商標は、各社が保有します。

注意

- 本装置は QX-W1000/W1100 シリーズ アクセスポイント Anchor-AC コマンドマニュアルに記載されているコマンドのみ使用することができます。QX-W1000/W1100 シリーズ アクセスポイント Anchor-AC コマンドマニュアルに記載されていないコマンドを使用した場合の動作については保証しません。
- 本マニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。本マニュアルのすべての記述、情報、および推奨事項は、明示的か暗黙的かにかかわらず、いかなる種類の保証の対象になりません。

本マニュアルについて

バージョン

本マニュアルに対応する製品バージョンは Version 7.2.X を含む以降のソフトウェアです。

関連マニュアル

次のマニュアルには、QX-W1000/W1100 シリーズアクセスポイントに関する詳細な説明があります

マニュアル	内容
QX-W1000/W1100 シリーズアクセスポイントインストールマニュアル	システムのインストールについて説明しています。
QX-W1000/W1100 シリーズアクセスポイントオペレーションマニュアル	機能の設定について説明しています。
QX-W1000/W1100 シリーズアクセスポイントコマンドマニュアル	機能に関するコマンドについて説明しています。
QX-W1000/W1100 シリーズアクセスポイント Web コンソール操作マニュアル	Web コンソールからの装置設定、状態確認等についての操作を記述しています。
QX-W1000/W1100 シリーズアクセスポイント Anchor-AC オペレーションマニュアル	Anchor-AC として動作させる場合の機能設定について説明しています。
QX-W1000/W1100 シリーズアクセスポイント Anchor-AC コマンドマニュアル	Anchor-AC として動作させる場合の機能に関するコマンドについて説明しています。
QX-W1000/W1100 シリーズアクセスポイント Anchor-AC Web コンソール操作マニュアル	Web コンソールからの装置設定、状態確認等についての操作を記述しています。

マニュアルの構成

このオペレーションマニュアルは以下のセクションで構成されます。

- **1 章 Web コンソール機能の概要**

Web コンソールの機能概要、特長が記載されています。

- **2 章 Web コンソールへの接続**

ログイン画面、ログイン名、パスワードの入力方法について記載しています。

- **3章 ダッシュボードメニュー**
ログイン後に表示される画面（ダッシュボード画面）について記載しています。
- **4章 ネットワーク構成メニュー**
インタフェースやリンクアグリゲーションの設定、VLAN、ルーティング、マルチキャストの設定、表示手順について記載しています。
- **5章 システムメニュー**
Syslog 情報、ファイルの管理、ユーザ設定、装置管理の設定、表示手順について記載しています。
- **6章 ツールメニュー**
診断情報の設定、表示手順について記載しています。
- **7章 クイックスタートメニュー**
AP の設定、表示手順について記載しています。
- **8章 ワイヤレス構成メニュー**
AP 管理について記載しています。

表記規則

本マニュアルでは、次の表記規則を使用しています。

I. コマンド表記規則

表記規則	説明
太字体	コマンドラインを示すキーワードには 太字体 を使用します。
<i>イタリック体</i>	コマンドの引数は <i>イタリック体</i> を使用します。
[]	大カッコに囲まれた項目(キーワード、引数)はオプションです。
{x y ...}	選択する項目は、中カッコに入れて縦線で区切ってあります。1つを選択します。
[x y ...]	オプションの選択項目は、大カッコに入れて縦線で区切ってあります。1つまたは複数を選択します。
{x y ...}*	選択する項目は、中カッコに入れて縦線で区切ってあります。少なくとも1つ選択できます。
[x y ...]*	オプションの選択項目は、大カッコに入れて、縦線で区切ってあります。1つあるいは複数選択することも、何も選択しないこともできます。
&<1-n>	&の前のキーワードと引数を組み合わせます。引数で指定した数までキーワードを繰り返し指定できます。
#	#で始まる行はコメントを示します。

II. GUI 表記規則

表記規則	説明
<>	ボタン名は三角カッコに入っています。例えば、<OK>ボタンをクリックします。
[]	ウィンドウ名、メニュー項目、データ表、およびフィールド名は大カッコに入っています。例えば、[New User]ウィンドウが表示されます。
/	複数レベルのメニューはスラッシュで区切ってあります。例えば、[File/Create/Folder]。

III. キーボード操作

表記規則	説明
<KEY>	KEYのキーを押します。例えば、<Enter>はEnterキーを押します。
<KEY1 + KEY2>	複数のキーを同時に押します。例えば、<Ctrl+Alt+A>は3つのキーを同時に押すことを表します。
<KEY1, KEY2>	複数のキーを順番に押します。例えば、<Alt, A>は2つのキーを順に押すことを表します。

IV. マウス操作

表記規則	説明
クリック	マウスのボタンを素早く押します。特に指定がない場合は左ボタンを押します。
ダブルクリック	マウスの左ボタンを素早く2回押します。
ドラッグ	マウスの左ボタンを押したまま移動します。

V. 記号

表記規則	説明
 警告	表示を無視したり指示に従わない場合、利用者が怪我などをする恐れのある重要な情報を示します。
 注意	表示を無視したり指示に従わない場合、データの損失や破損、ハードウェアやソフトウェアの損傷などが発生する恐れのある重要な情報を示します。
 重要	注意を払う必要がある情報を示します。
 メモ	追加または補足となる情報を示します。
 ポイント	参考となる情報を示します。

VI. ネットワークアイコン

表記規則	説明
	ルータ、スイッチ、またはファイアウォールなどの一般的なネットワークデバイスを表しています。
	ルータまたはレイヤ3スイッチなどのルーティング対応のデバイスを表しています。
	レイヤ2、レイヤ3スイッチまたはレイヤ2転送機能に対応したルータなどの一般的なスイッチデバイスを表しています。

VII. 設定例

本マニュアルの設定例は各機能での代表的な設定例を示します。インターフェース番号、システム名の表記、display コマンドで表示される情報は、ご使用の装置と異なることがあります。

VIII. セキュリティ強化

セキュリティ強化のため、simple で設定されたパスワードも cipher や hash で登録されます。

本マニュアルは以下に示す 8 個のセクションで構成されています。

- 01 - Web コンソール機能の概要
- 02 - Web コンソールへの接続
- 03 - ダッシュボードメニュー
- 04 - ネットワーク構成メニュー
- 05 - システムメニュー
- 06 - ツールメニュー
- 07 - クイックスタートメニュー
- 08 - ワイヤレス構成メニュー

目次

1章 Webコンソール機能の概要	1-1
1.1 Webコンソールの説明	1-1
1.2 Webコンソールの有効化	1-2
1.2.1 コンソール接続	1-2
1.2.2 LANケーブルの接続	1-2
1.2.3 装置のアドレスの設定	1-2
1.2.4 PCの設定	1-3
1.2.5 HTTPサービスの有効化	1-6
1.2.6 Webコンソールユーザの作成	1-7
1.3 端末動作環境	1-8
1.3.1 オペレーティングシステム	1-8
1.3.2 ブラウザ	1-8

1章 Web コンソール機能の概要

1.1 Webコンソールの説明

Web コンソールは装置にローカルユーザ、IP アドレスを設定した後、CLI を使用せずに Web ブラウザから装置の設定をすることができます。

VLAN 作成、ポート状態の管理、コンフィグやソフトウェアのアップロードなどを GUI 操作で簡単にできます。



注意：

- Web コンソールを使用する前に、CLI でローカルユーザ、IP アドレスの設定を行う必要があります。
 - Web コンソール操作時に表示されるメッセージが、CLI 操作時と異なる場合があります。
 - Web コンソールを接続したまま、CLI 等で設定変更を行うと、Web コンソールの操作が正しく行えない場合や、操作上のメッセージが正しく表示されない場合があります。
 - Web コンソールで設定を変更する場合、現在の装置情報を確認のうえ、操作を行ってください。
 - アクセスコントローラの Web コンソールは、コマンドマニュアルに記載してある機能のメニュー操作に対応しています。マニュアルに記載のない機能のメニューを操作したときの動作については保証できません。
-

1.2 Webコンソールの有効化

装置に Web コンソール機能が備わっている場合でも、使用する前に Web コンソール機能の有効化と、Web コンソールで設定変更ができる権限を持ったユーザを作成する必要があります。

以下に Web コンソール機能の有効化とユーザの作成の手順を示します。

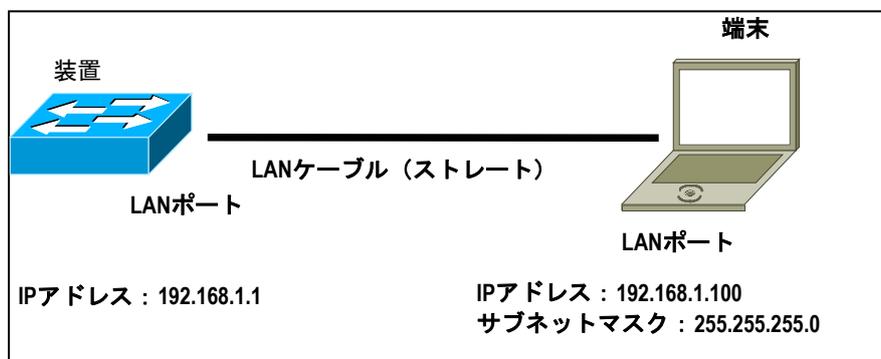
1.2.1 コンソール接続

コンソールケーブルで PC のシリアルポートと装置のコンソールポートを接続し、装置にログインします。

1.2.2 LAN ケーブルの接続

Web コンソールによる操作を行うため、装置の LAN ポートと端末の LAN ポートを LAN ケーブル（ストレート）で接続します。接続する LAN ポートはどこでもかまいません。

図 1-1 LAN ケーブルの接続



1.2.3 装置のアドレスの設定

装置のアドレスの設定方法は以下の通りです。

```
# VLAN 1 を作成します。VLAN 1 に PC に接続されている GigabitEthernet 1/0/1 を追加します。  
  
<AC> system-view  
  
# VLAN インタフェース 1 に IP アドレス 192.168.1.1、サブネットマスク 255.255.255.0 を割り当てます。  
  
[AC] interface vlan-interface 1  
[AC-VLAN-interface1] ip address 192.168.1.1 255.255.255.0  
[AC-VLAN-interface1] quit
```

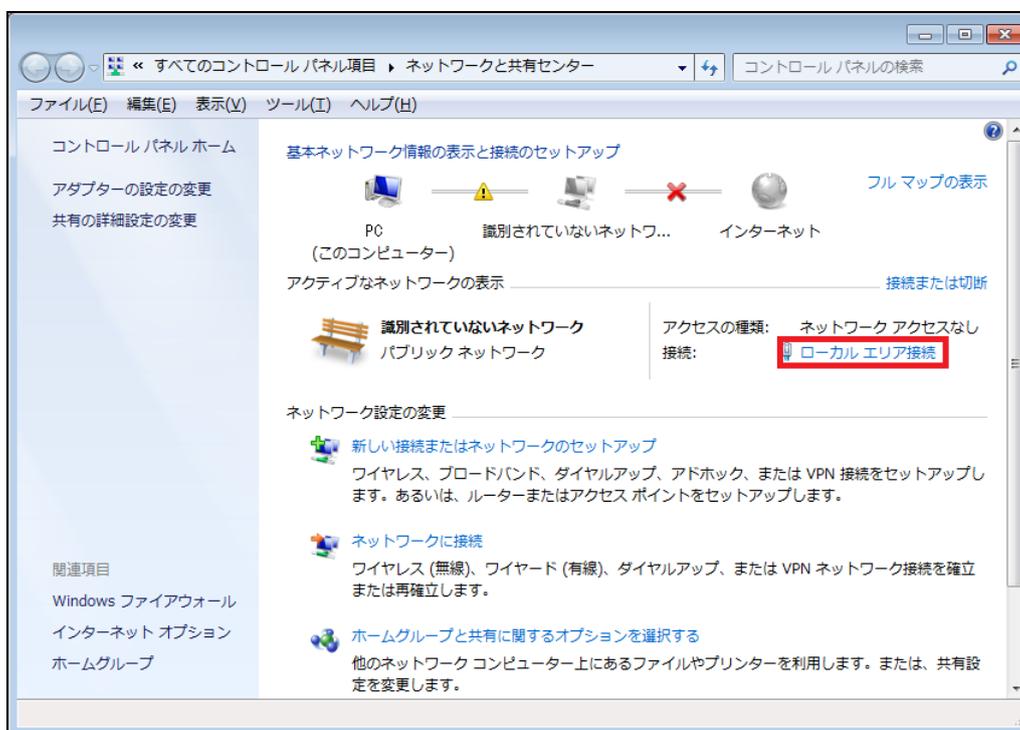
1.2.4 PC の設定

PC にアドレスの設定を行います。コマンドプロンプトを起動します。PC から装置に対して ping を実行し、応答があることを確認します。

以下の手順は一例です。PC の環境により適切に通信確認を行ってください。

- 1) “スタート” → “コントロールパネル” → “すべてのコントロールパネル項目” → “ネットワークと共有センター” を開きます。

図 1-2 ネットワークと共有センター



- 2) “アクティブなネットワークの表示” → “ローカルエリア接続” → “プロパティ” → “インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)” → “プロパティ” を選択します。PC の IP アドレス、サブネットマスクを設定します。装置と異なるネットワー

ク上にある場合、デフォルトゲートウェイを設定します。その場合、装置にも PC があるネットワークに到達するためのデフォルトゲートウェイが必要です。

図 1-3 ローカルエリア接続のプロパティ

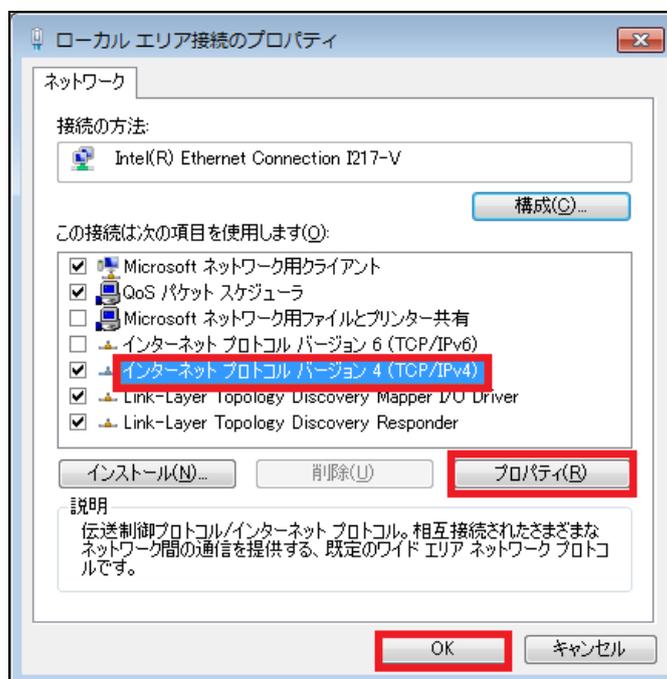
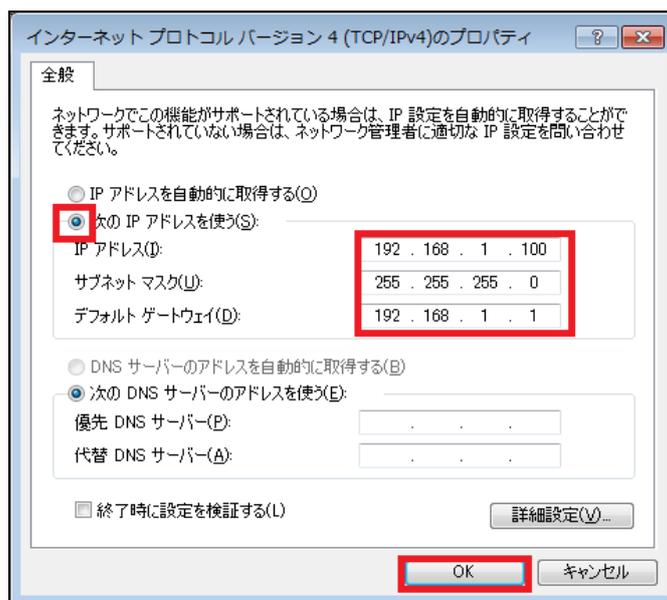
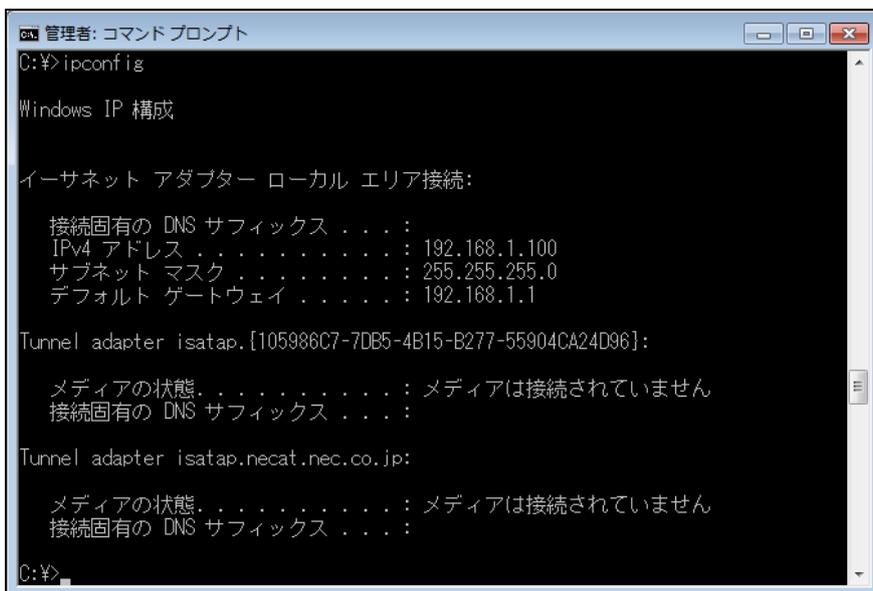


図 1-4 インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) でのアドレスの設定



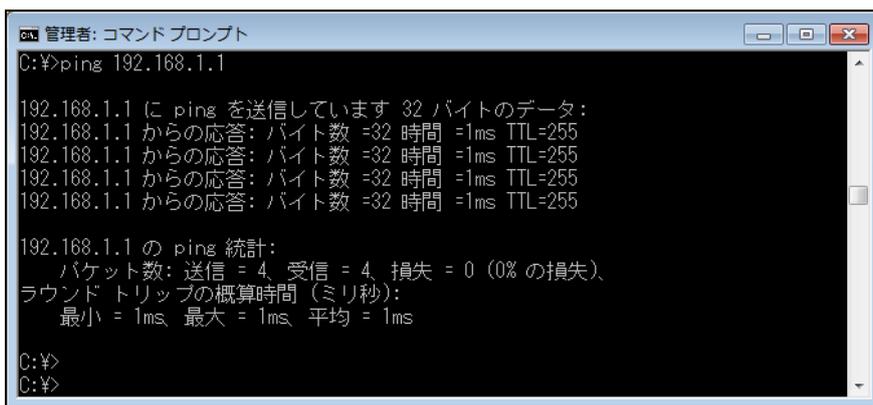
- 3) “スタート”→“すべてのプログラム”→“コマンドプロンプト”の手順でコマンドプロンプトを起動します。PC のアドレスを確認するため、ipconfig を実行します。

図 1-5 PC のアドレスの確認



- 4) PC から装置に ping を実行します。

図 1-6 ping の実行



1.2.5 HTTP サービスの有効化

Web コンソールに HTTP で接続するために、HTTP サービスを有効になっていることを確認します。HTTP サービスはデフォルトで有効です。

現在の設定で HTTP サービスが無効でないことを確認します。HTTP サービスが無効である場合、カレントコンフィグレーションに **undo ip http enable** コマンドが表示されません。

HTTP サービスが無効の場合の表示例を以下に示します。

```
[AC] display this
#
 sysname AC
#
 undo copyright-info enable
#
 password-recovery enable
#
 scheduler logfile size 16
#
 undo info-center logfile enable
#
 domain default enable system
#
 return
# HTTP サービスが無効の場合、http サービスを有効にします。

[AC] ip http enable

[AC] display this
#
 sysname AC
#
 undo copyright-info enable
#
 password-recovery enable
#
 scheduler logfile size 16
#
 undo info-center logfile enable
#
 domain default enable system
#
 ip http enable
#
 return
```

📖 メモ :

- https で使用するユーザには **service-type https** コマンドを設定します。
- https を使用する場合は **ip https enable** コマンドで HTTPS サービス有効にします。 **ip https enable** コマンドで HTTPS を有効にしていなくても、ログイン時は HTTPS で行われます。

1.2.6 Web コンソールユーザの作成

装置で Web コンソールユーザを作成します。Web コンソールによる設定の詳細はセクション 1 はじめに オペレーションマニュアルの “Web コンソールによるログイン” を参照してください。

```
# 装置にローカルユーザ web を作成します。

[AC] local-user web
New local user added.

# サービスタイプ http を追加し、ユーザロールを network-admin に設定します。

[AC-luser-manage-web] service-type http

[AC-luser-manage-web] authorization-attribute user-role network-admin

#パスワードを admin12345 に設定します。

[AC-luser-manage-web] password simple admin12345

# 設定を保存します。

[AC-luser-manage-web] save
The current configuration will be written to the device. Are you sure? [Y/N]:y
Please input the file name(*.cfg)[flash:/startup.cfg]
(To leave the existing filename unchanged, press the enter key):
flash:/startup.cfg exists, overwrite? [Y/N]:y
Validating file. Please wait...
Configuration is saved to device successfully.
```

📖 メモ :

7.2.27 を含む以降のソフトウェアでは、以下の要件を満たすパスワードである必要があります。

- 10文字以上。
- アルファベット、数字、記号のうち 2種類以上を含む。
- ユーザ名またはユーザ名の逆の文字を含まない。

7.2.21 を含む以前のソフトウェアで要件を満たしていないパスワードを設定し、7.2.27 を含む以降のソフトウェアにバージョンアップをした場合、古いパスワードのまま利用することもできますが、ログイン時にパスワードの強化が要求されます。

1.3 端末動作環境

1.3.1 オペレーティングシステム

本装置の Web コンソールは以下のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Windows 8.1/10
- Linux

1.3.2 ブラウザ

本装置の Web コンソールは以下のブラウザをサポートしています。

- Microsoft Edge Chromium 版以降
- Mozilla Firefox 4.0 以降
- Google Chrome 10.0 以降



注意：

- 本装置の Web コンソールは、ブラウザの“戻る”、“次へ”、“更新”などのボタンをサポートしていません。これらのボタンを使用すると、Web ページが表示されないなど、異常な状態になる可能性があります。
 - システムが STP (Spanning Tree) のトポロジ計算をしている間は、web コンソールで装置にログインすることができません。
 - Windows ファイアウォールが TCP 接続数を制限するため、IE (Internet Explorer) を使用して装置にログインする場合、Web コンソールに接続できない場合があります。接続できない場合は、ファイアウォールの設定を確認してください。
 - Web コンソールで装置のソフトウェアバージョンを変更する場合、IE のキャッシュされたデータを削除するため、確認メッセージが表示される場合があります。
-

目次

2 章 Web コンソールへの接続	2-1
2.1 Web コンソールへのログイン	2-1
2.2 画面の概要	2-4

2章 Web コンソールへの接続

2.1 Webコンソールへのログイン



注意：

端末の設定（PROXY サーバ、Firewall、セキュリティ）などにより、設定を変更しないと Web コンソールに接続できない場合があります。

-
- 1) PC 上のブラウザのアドレスバーに“http://装置の IP アドレス”を入力します。
“http://192.168.1.1”を入力します。

セキュリティ証明書にエラーのあるコンテンツの表示が Internet Explorer によりブロックされました。

Internet Explorer を使用してログインを行う場合は上記のような警告が表示される場合があります。

[コンテンツを表示(S)]ボタンをクリックすることで、正常にログイン画面が表示されます。



注意：

ログイン画面は、https にリダイレクトされますが、装置内で生成した自己証明書を用いているため、証明書のエラーが表示されます。
強制的に表示をさせるように操作することでログイン画面が表示されます。

接続が完了するとログイン画面が表示されます。

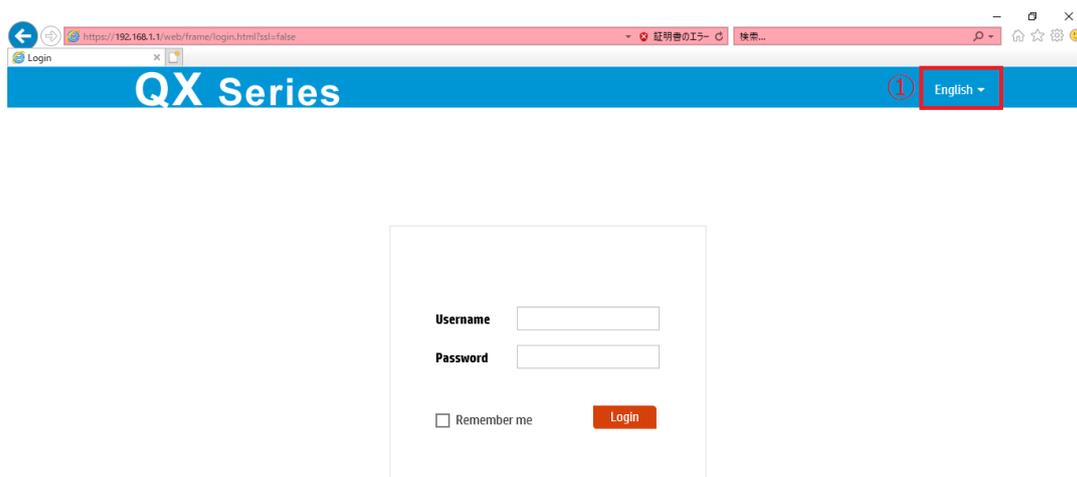


図 2-1 Web ログインページ

- 2) 図 2-1 の①に示す “English” をクリックすると言語選択が可能です。

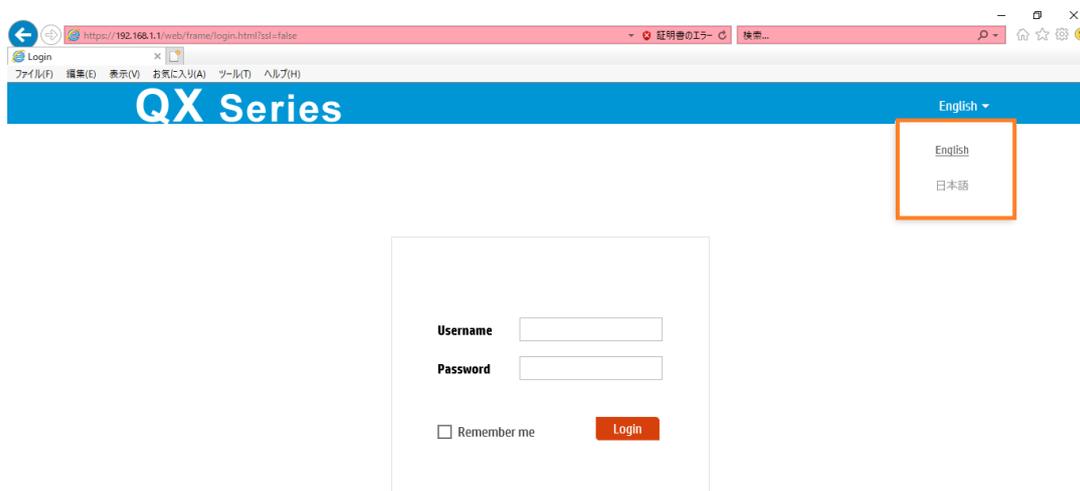


図 2-2 言語選択表示

- 3) 図 2-2の日本語をクリックすると以降の WEB 画面は日本語表示になります。言語選択はいつでも変更可能です。
- 4) “ユーザ名” web、“パスワード” admin を入力します。大文字、小文字を区別します。入力後、“ログイン” をクリックします。



図 2-3 ユーザ名、パスワードの入力

- 5) 7.2.21 を含む以前のソフトウェアで以下の要件を満たさないパスワードを設定し、7.2.27 を含む以降のソフトウェアにバージョンアップをした場合、ログイン時にパスワードの強化が要求されます。キャンセルすることでそのまま利用可能ですが、変更することを推奨します。
- 10 文字以上。
 - アルファベット、数字、記号のうち 2 種類以上を含む。
 - ユーザ名またはユーザ名の逆の文字を含まない。

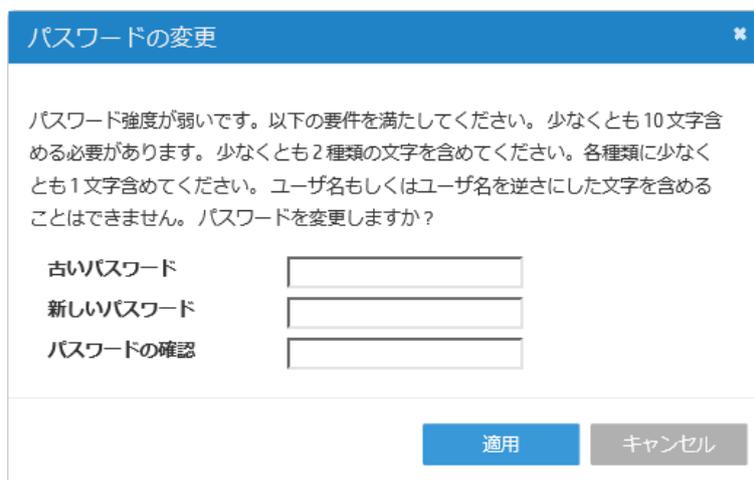


図 2-4 パスワード変更要求

2.2 画面の概要



注意：

ログイン後、Web コンソール画面上でなにも操作しない場合、自動的にログアウトします。アイドルタイムアウト時間はデフォルトで 10 分です。

ログインすると以下のような画面を表示します。

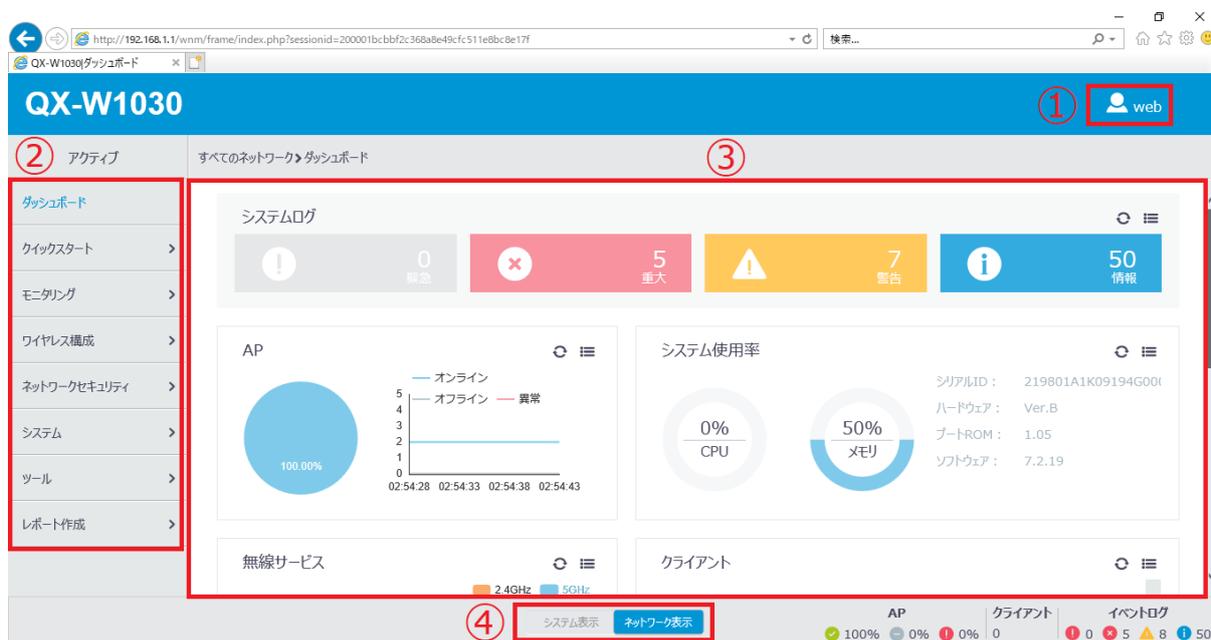


図 2-5 画面表示の概要

以下に画面上のアイコンの概要について記載します。詳細は後述の各章を参照してください。

- 1) ログインしているユーザの情報を表示します。図 2-5の①に示す  をクリックすると、図 2-6に示すようにユーザインフォメーションのポップアップ画面が表示されます。



図 2-6 ユーザインフォメーションのポップアップ画面

- 2) 設定を保存します。“保存”をクリックすると、図 2-7に示すように現在の設定を保存するかどうかの確認ダイアログが表示されます。“はい”をクリックします。



図 2-7 保存確認画面

- 3) Web コンソールからログアウトします。“ログアウト”をクリックすると、図 2-87に示すように現在の設定を保存するかどうかの確認ダイアログが表示されます。“はい”をクリックすると Web ブラウザ画面が終了します。



The image shows a blue header bar with the text "確認" (Confirmation) on the left and a close button "X" on the right. Below the header, the text "ログアウトしますか?" (Do you want to log out?) is displayed. At the bottom, there are two buttons: "はい" (Yes) and "いいえ" (No). The "はい" button is highlighted with a red border.

図 2-8 ログアウト確認画面

- 4) パスワードを変更します。“パスワードの変更”をクリックすると、図 2-9に示すようにパスワード変更の確認ダイアログが表示されます。“新しいパスワードの入力”に新しいパスワードを入力します。“新しいパスワードの再入力”に再度新しいパスワードを入力します。“適用”をクリックすると、パスワードの変更が適用されます。



The image shows a blue header bar with the text "パスワードの変更" (Change Password) on the left and a close button "X" on the right. Below the header, there are two input fields. The first field is labeled "新しいパスワードの入力 *" (New Password Input *) and has a character count "(1-63 文字)" (1-63 characters) to its right. The second field is labeled "新しいパスワードの再入力 *" (New Password Re-input *) and also has a character count "(1-63 文字)". At the bottom, there are two buttons: "適用" (Apply) and "キャンセル" (Cancel). The "適用" button is highlighted with a red border.

図 2-9 パスワードの変更画面

- 5) “ロードマップ”をクリックすると、図 2-109 に示すように設定、情報メニューの一覧を表示します。設定、情報メニューをクリックすると各設定、情報画面に移行し、画面中央に該当する内容を表示します。

システム表示

ダッシュボード

ネットワーク構成

ネットワークインタフェース	VLAN	ネットワークルーティング	ネットワークサービス	マネージメントプロトコル
インタフェース	VLAN	ルーティングテーブル	IPサービス	HTTP/HTTPS
リンクアグリゲーション	MAC	スタティックルーティング	IP	Telnet
	STP		IPv6	SSH
			DHCP/DNS	NTP
			DHCP	LLDP
			IPv4 DNS	設定
			IPv6 DNS	

図 2-10 ロードマップ画面

- 6) 図 2-5の②は設定、情報メニューです。文字をクリックすると設定、情報メニューのサブ設定、情報メニューを表示します。サブ設定メニューをクリックすると各設定、情報画面に移行し、画面中央に該当する内容を表示します。
- 7) 図 2-5の③は設定、情報画面を表示します。図 2-5の例では設定、情報メニューは“ダッシュボード”です。概要情報が画面中央に表示されています。
- 8) 図 2-5の④は表示選択メニューです。“システム表示”または“ネットワーク表示”をクリックすると、表示を選択できます。

目次

3章 ダッシュボードメニュー	3-1
3.1 システムログ	3-3
3.2 AP	3-6
3.3 無線サービス	3-6
3.4 システム使用率	3-6
3.5 クライアント	3-7
3.6 インタフェーストラフィック	3-8
3.7 表示画面選択	3-8
3.8 ステータス表示	3-8

3章 ダッシュボードメニュー

図 3-1に示す“システム表示”での設定メニューもしくは、図 3-2に示す“ネットワーク表示”での設定メニューで“ダッシュボード”をクリックします。

図 3-3に示すようなダッシュボードメニューが表示されます。システムログ、AP、システム使用率、無線サービス、クライアント、インターフェーストラフィックを表示します。ダッシュボードメニューの下部には表示選択、ステータス表示が表示されます。

“システム表示”および“ネットワーク表示”で表示されるダッシュボードメニューの内容は同一です。

表示選択に関する詳細は“ダッシュボードメニュー”の“表示選択”を参照してください。

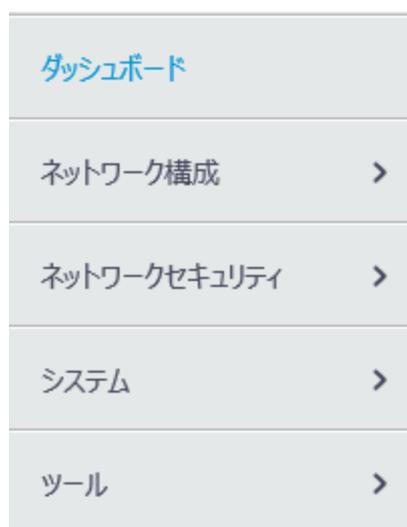


図 3-1 ダッシュボードメニューの選択（システム表示での設定メニュー）

ダッシュボード	
クイックスタート	>
モニタリング	>
ワイヤレス構成	>
ネットワークセキュリティ	>
システム	>
ツール	>
レポート作成	>

図 3-2 ダッシュボードメニューの選択（ネットワーク表示での設定メニュー）

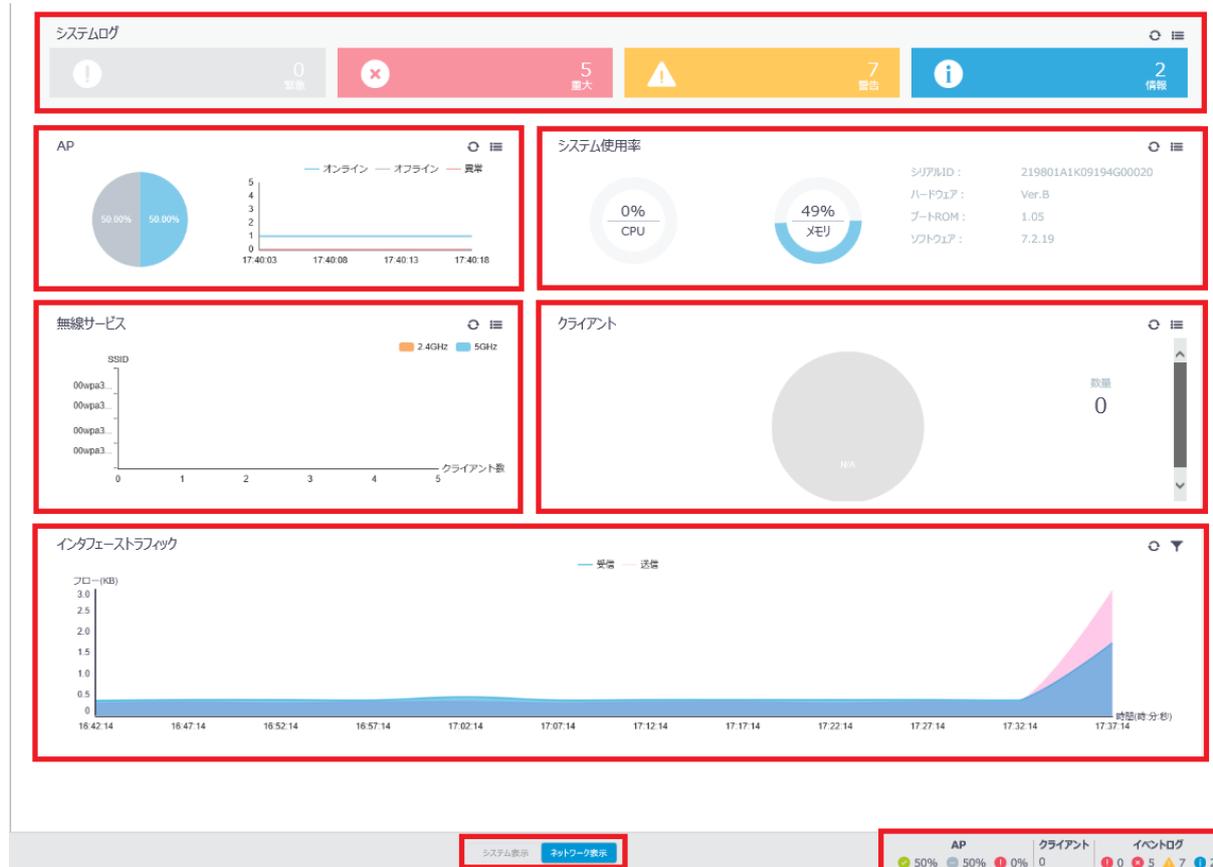


図 3-3 ダッシュボードメニュー

3.1 システムログ

ログの数が表示されます。ログは重要度レベルごとに区分されます。

図 3-3の例では、以下のログがあることを示します。

-  緊急 (Emergency) レベル : 0
-  重大 (Error) レベル : 5
-  警告 (Notification) レベル : 7
-  情報 (Informational) レベル : 2

システムログの右上の  をクリックすると、Syslog 情報を表示します。詳細は“システムメニュー”の“Syslog 情報”を参照してください。

“ダッシュボード”をクリックするとダッシュボードメニューに戻ります。

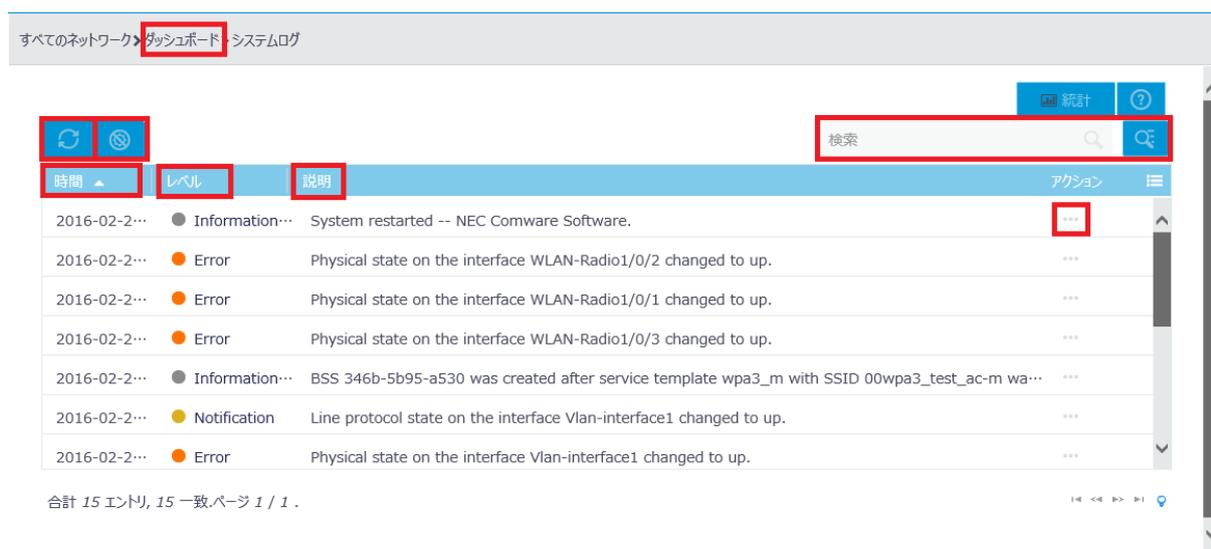


図 3-4 Syslog 情報画面

“時間”、“レベル”、“説明”をクリックすることで項目ごとにソートすることができます。

 をクリックすると、Syslog 情報の更新を行います。 をクリックするとすべての Syslog 情報を削除します。

Syslog 情報を検索することができます。“検索”で検索したい文字列を入力します。

 をクリックすることで、Syslog 情報の高度な検索を行うことができます。“時間”、“レベル”、“説明”を入力、選択します。“検索”をクリックします。図 3-5に Syslog 情報の高度な検索画面を表示します。

高度な検索 ✕

時間	<input type="text"/>
レベル	<input type="text"/> ▼
説明	<input type="text"/>

図 3-5 Syslog 情報の高度な検索

Syslog 情報の ******* をクリックすると図 3-6に示すような Syslog 情報の詳細を表示します。

システムログ詳細 ✕

時間	2016-02-23 13:35:23
グループ	SYSLOG
レベル	6
要約	SYSLOG_RESTART
説明	System restarted -- NEC Comware Software.

図 3-6 Syslog 情報の詳細

3.2 AP

図 3-3に示すダッシュボードメニューの“AP”には、装置に接続した AP の状態が表示されます。

3.3 無線サービス

図 3-3に示すダッシュボードメニューの“無線サービス”には、無線、SSID の状態が表示されます。

3.4 システム使用率

図 3-3に示すダッシュボードメニューの“システム使用率”には、装置のリソース（CPU、メモリ）の使用状況が表示されます。

図 3-3の例では CPU 使用率：0%、メモリ使用率：49%であることを示します。

Dashboard メニューの  をクリックすると、図 3-7のようなシステム使用率を表示します。

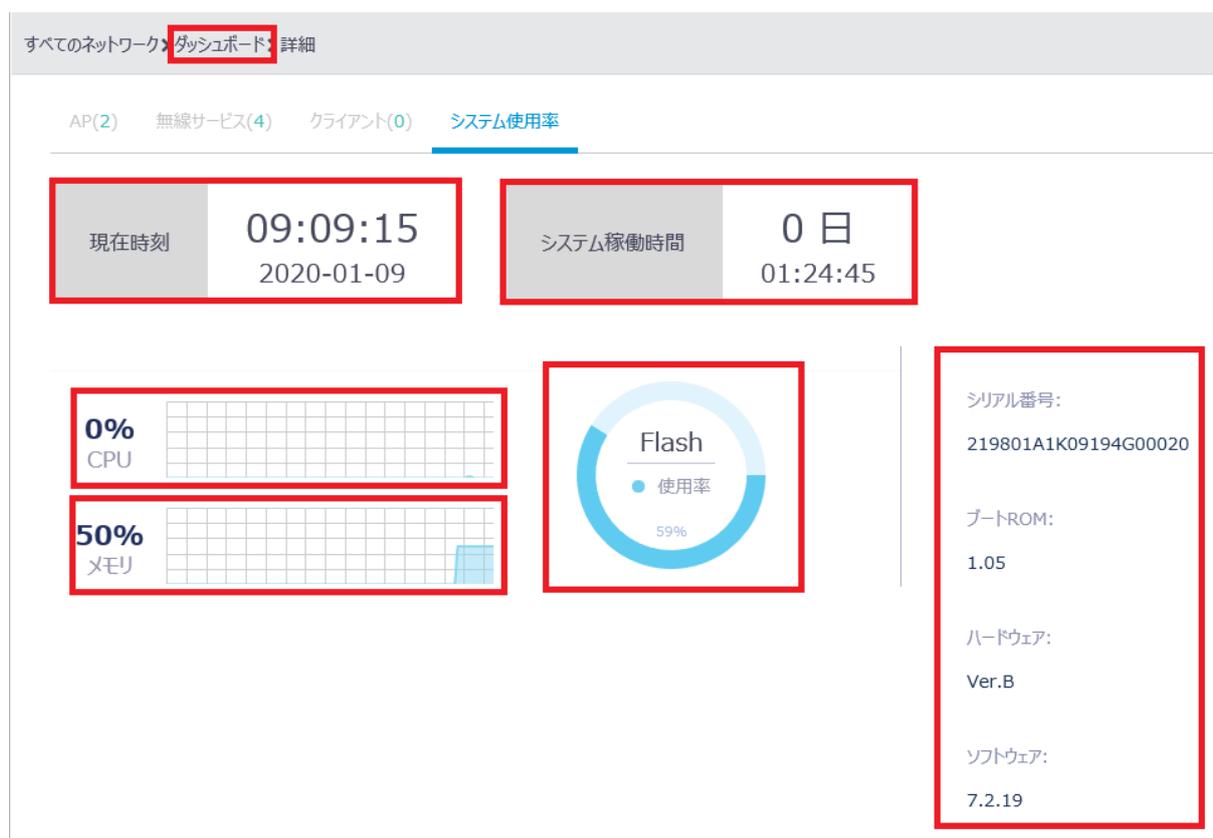


図 3-7 システム使用率表示画面

“ダッシュボード”をクリックするとダッシュボードメニューに戻ります。

画面上部に現在時刻、システム稼働時間が表示されます。

画面中央部左側にCPU使用率、メモリ使用率が表示されます。

画面中央部中央にフラッシュメモリの使用率が表示されます。

画面右側に装置の情報が表示されます。

- シリアル番号
- Boot ROMバージョン
- ハードウェアバージョン
- システムソフトウェアバージョン

3.5 クライアント

図 3-3に示すダッシュボードメニューの“クライアント”には、接続したクライアント数が表示されます。

3.6 インタフェーストラフィック

図 3-3に示すダッシュボードメニューの“インタフェーストラフィック”には、装置のインタフェースでの時間ごとのトラフィック量（Kバイト）が表示されます。

▼ をクリックすると、のようなインタフェース選択画面が表示されます。表示したいインタフェースを選択してください。

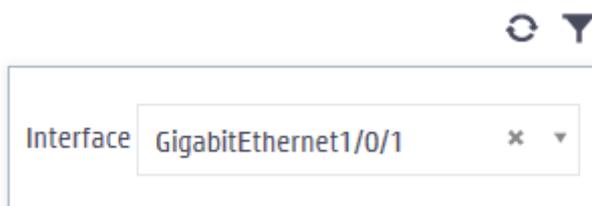


図 3-8 インタフェース選択画面

3.7 表示画面選択

📄 メモ：

“システム表示”と“ネットワーク表示”では、ダッシュボードの表示内容に違いはありません。

図 3-9に示すように、ダッシュボードメニューの下部にある“システム表示”または“ネットワーク表示”をクリックすると、それぞれのメニューを選択できます。



図 3-9 表示画面の選択

図 3-9に示す選択画面では、ネットワーク表示が選択されています。

3.8 ステータス表示

図 3-3に示すダッシュボードメニューの下部には、アクセスポイント、クライアント、イベントログのステータスがそれぞれ表示されます。

1) APに表示されるステータスは以下の通りです。

-  : オンラインの AP
-  : オフラインの AP
-  : 異常が発生した AP

- 2) クライアントに表示される数字は、クライアント数を表します。
- 3) イベントログに表示されるステータスは以下の通りです。

 : 緊急レベルのログ数

 : 重大レベルのログ数

 : 警告レベルのログ数

 : 情報レベルのログ数

ステータスに表示される情報は、ダッシュボード内の“AP”、“クライアント”、“システムログ”に表示される情報に基づきます。

目次

4 章 ネットワーク構成メニュー	4-1
4.1 インタフェースの設定、表示	4-2
4.1.1 インタフェースの設定、表示	4-2
4.1.2 リンクアグリゲーションの設定、表示	4-8
4.2 リンクの設定、表示.....	4-11
4.2.1 VLAN の設定、表示.....	4-11
4.3 ルーティングの設定、表示.....	4-15
4.3.1 ルーティングテーブルの設定、表示.....	4-15
4.3.2 スタティックルーティングの設定、表示	4-17
4.4 ネットワークサービスの設定、表示	4-20
4.4.1 IP サービスの設定、表示	4-20
4.4.2 マルチキャストの設定、表示	4-23

4章 ネットワーク構成メニュー

本章ではシステム表示のネットワーク構成メニューの設定について説明します。図 4-1に示すように、システム表示が選択されていることを確認してください。



図 4-1 システム表示の選択

図 4-2に示すシステム表示での設定メニューで“ネットワーク構成”をクリックします。図 4-3に示すようなネットワーク構成サブメニューが表示されます。



図 4-2 ネットワーク構成メニューの選択



図 4-3 ネットワーク構成サブメニュー

4.1 インタフェースの設定、表示

4.1.1 インタフェースの設定、表示

1. インタフェースの表示

ネットワーク構成サブメニューで“ネットワークインタフェース”を選択します。図 4-4 に示すようなインタフェースのリストが表示されます。“すべてのインタフェース”でインタフェースの種類を選択することができます。

 をクリックすると、インタフェース情報の更新を行います。



図 4-4 インタフェースリスト画面

II. インタフェースの検索

インタフェースを検索することができます。インタフェースのリスト画面で、GE1/0/1 など検索したい項目を“検索”に入力します。

インタフェースのリスト画面で  をクリックすることで、インタフェースの高度な検索を行うことができます。図 4-5にインタフェースの高度な検索画面を表示します。

- 1) “インタフェース”、“ステータス”、“IP アドレス”、“速度(Kbps)”、“通信モード”、“説明”を選択、入力します。
- 2) “検索”をクリックします。

高度な検索✕

インターフェース	
ステータス	▼
IPアドレス	
速度(Kbps)	
通信モード	▼
説明	

🔍 検索 リセット 閉じる

図 4-5 インタフェースの高度な検索

III. インタフェースの設定

をクリックするとインタフェースの設定を行うことができます。図 4-6にインタフェースの設定画面を表示します。

“インタフェース” をクリックすると、インタフェースリスト画面に戻ります。

- 1) “ステータス”、“説明”、“MAC アドレス”、“リンクタイプ”、“PVID”、“リンク速度”、“デュプレックス”、“帯域幅”、“リンクモード”、“ジャンボフレーム”、“BPDU インターセプト”、“フロー制御”、“ブロードキャストの抑制”、“マルチキャストの抑制”、“Unknown ユニキャストの抑制” を選択、入力します。
- 2) 設定後、“適用” をクリックします。

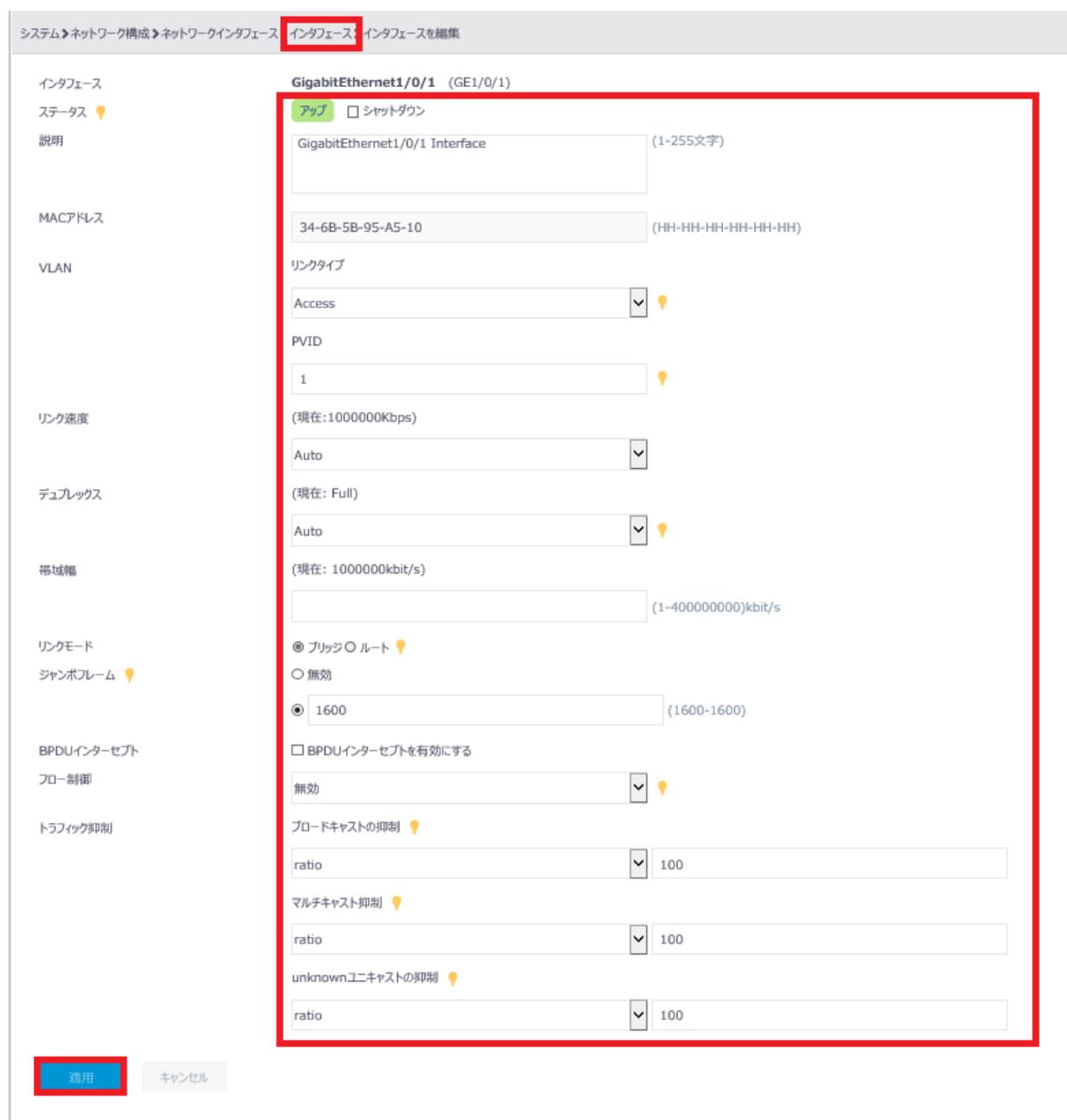


図 4-6 インタフェースの設定

IV. インタフェースの統計情報

図 4-4 インタフェースリスト画面で“統計”をクリックすると、図 4-7に示すようなインタフェースの統計情報を表示します。

“Interface”、“Description”、“InOctets”、“InUcastPkts”、“InNUcastPkts”、“InDiscards”、“InErrors”、“InUnknownProtos”、“InRate”、“OutOctets”、“OutUcastPkts”、“OutNUcastPkts”、“OutDiscards”、“OutErrors”、“OutRate”、“LastClear”の情報を表示することができます。

インタフェースの統計情報画面で  をクリックし、表示する情報を選択します。デフォルトで “Interface”、“Description”、“InUcastPkts”、“InNUcastPkts”、“InDiscards”、“InRate”、“OutUcastPkts”、“OutNUcastPkts”、“OutDiscards”、“OutRate” の情報を表示します。

“ネットワークインタフェース” をクリックすると、インタフェースリスト画面に戻ります。

 をクリックすると、インタフェース統計情報の更新を行います。

システム > ネットワーク構成 > ネットワークインタフェース > インタフェース

<input type="checkbox"/>	Interfa...	Descrip...	InUcast...	InNUcast...	InDiscard...	InRate(M...	OutUcast...	OutNUca...	OutDiscar...	OutRate(...	アクション
<input type="checkbox"/>	GE1/0/1	Gigabit...	8233	3130	0	0.005	8096	3513	0	0.007	
<input type="checkbox"/>	GE1/0/2	Gigabit...	0	0	0	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	NULL0	NULL0...	0	0	0	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	Vlan1	Vlan-int...	0	0	0	0.004	0	0	0	0.005	
<input type="checkbox"/>	WLAN-...	WLAN-...	0	0	0	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	WLAN-...	WLAN-...	0	0	0	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	WLAN-...	WLAN-...	153	29818	0	0	0	0	12904	0	

合計 エントリ, 7一致, 0 選択. ページ 1 / 1 .

図 4-7 インタフェースの統計情報

V. インタフェースの統計情報の検索

インタフェースの統計情報を検索することができます。インタフェースの統計情報画面で検索したいインタフェースを “Search” に入力します。

 をクリックすることで、インタフェースの高度な検索を行うことができます。“Interface”、“InOctets”、“InUcastPkts”、“InNUcastPkts”、“InDiscards”、“InErrors”、“InUnknownProtos”、“InRate”、“OutOctets”、“OutUcastPkts”、“OutNUcastPkts”、“OutDiscards”、“OutErrors”、“OutRate”、“LastClear” を選択します。“Search” をクリックします。

図 4-8にインタフェースの統計情報の高度な検索画面を表示します。

高度な検索 ×

Interface	<input type="text"/>
Description	<input type="text"/>
InOctets	<input type="text"/>
InUcastPkts	<input type="text"/>
InNUcastPkts	<input type="text"/>
InDiscards	<input type="text"/>
InErrors	<input type="text"/>
InUnknownProtos	<input type="text"/>
InRate(Mb/s)	<input type="text"/>
OutOctets	<input type="text"/>
OutUcastPkts	<input type="text"/>
OutNUcastPkts	<input type="text"/>
OutDiscards	<input type="text"/>
OutErrors	<input type="text"/>
OutRate(Mb/s)	<input type="text"/>
LastClear	<input type="text"/>

図 4-8 インタフェースの統計情報の高度な検索

VI. インタフェースの統計情報の削除

インタフェースの  をクリックし、 **クリア** をクリックするとすべてのインタフェースの統計情報を 0 にします。

インタフェースの統計情報画面で  をクリックすると指定したインタフェースの統計情報を 0 にします。

図 4-9 に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい” をクリックします。



図 4-9 インタフェースの統計情報の削除

4.1.2 リンクアグリゲーションの設定、表示

I. リンクアグリゲーションの表示

ネットワーク構成サブメニューで“ネットワークインタフェース”を選択し、“リンクアグリゲーション”をクリックします。図 4-10 に示すようなリンクアグリゲーションのリスト画面が表示されます。

 をクリックすると、リンクアグリゲーション情報の更新を行います。



図 4-10 リンクアグリゲーションの表示

リンクアグリゲーションにメンバポートが割り当てられている場合、メンバポートに↑が表示されます。↑をクリックすると該当するとリンクアグリゲーションのメンバポートが表示されます。図 4-11にメンバポートを表示します。

インタフェース [リンクアグリゲーション](#)

アグリゲートインタフェース	アグリゲーションモード	メンバポート	アクション
BAGG1	スタティック	2	🗑️
		GE1/0/1	
		GE1/0/2	

図 4-11 メンバポートの表示

II. リンクアグリゲーションの検索

リンクアグリゲーションを検索することができます。リンクアグリゲーションのリスト画面で検索したい項目を“検索”に入力します。

🔍 をクリックすることで、リンクアグリゲーションの高度な検索を行うことができます。“アグリゲーションインタフェース”、“アグリゲーションモード”、“メンバポート”を選択、入力します。“検索”をクリックします。図 4-12にリンクアグリゲーションの高度な検索画面を表示します。

高度な検索✕

アグリゲートインタフェース	<input type="text"/>
アグリゲーションモード	<input type="text" value="▼"/>
メンバポート	<input type="text"/>

Q検索リセット閉じる

図 4-12 リンクアグリゲーションの高度な検索

III. リンクアグリゲーションの追加

リンクアグリゲーションのリスト画面で  をクリックすると、リンクアグリゲーションを作成します。

- 1) 図 4-13に示すように“アグリゲートインタフェース番号”、“アグリゲーションモード”、“メンバポート”を選択、入力します。
- 2) “適用”をクリックします。

アグリゲートインタフェースタイプ	<input type="text" value="ブリッジアグリゲーション"/>
* アグリゲートインタフェース番号 *	<input type="text" value=""/>
アグリゲーションモード *	<input type="text" value="スタティック"/>
メンバポート	<input type="text" value="選択"/>

適用キャンセル

図 4-13 リンクアグリゲーションの追加

IV. リンクアグリゲーションの削除

 をクリックするとリンクアグリゲーションを削除します。図 4-14に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい” をクリックします。



図 4-14 リンクアグリゲーションの削除

4.2 リンクの設定、表示

4.2.1 VLAN の設定、表示

I. VLAN の表示

ネットワーク構成サブメニューで“VLAN”を選択します。VLAN リストが表示されます。

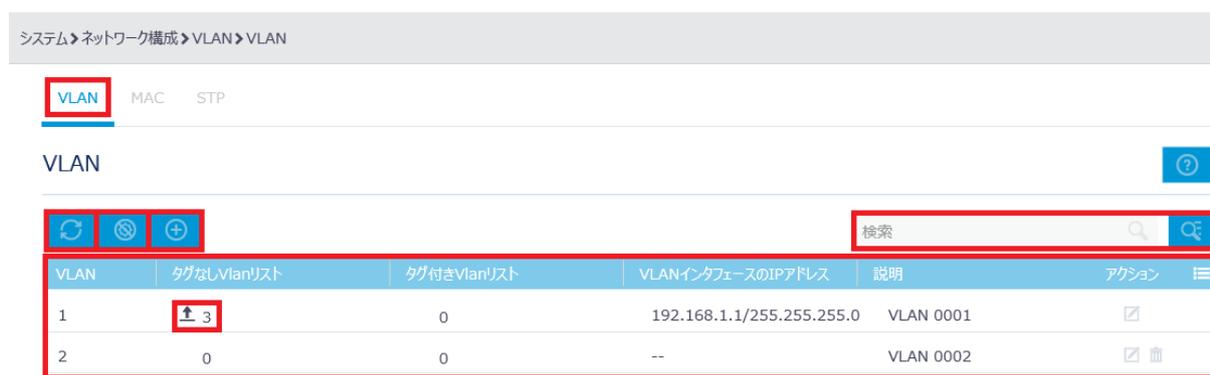


図 4-15 VLAN リストの表示

VLAN にポートが割り当てられている場合、ポートリストに  が表示されます。  をクリックすると該当するポートが表示されます。図 4-16にタグなし VLAN リストを表示します。

VLAN リストで  をクリックすると、VLAN 情報の更新を行います。

VLAN	タグなしVlanリスト	タグ付きVlanリスト	VLANインタフェースのIPアドレス	説明	アクション
1	▼ 3	0	192.168.1.1/255.255.2...	VLAN 0001	
	GigabitEthernet1/0/1				
	GigabitEthernet1/0/2				
	Bridge-Aggregation1				

図 4-16 タグなし VLAN リスト

II. VLAN の検索

VLAN を検索できます。VLAN リストで検索したい項目を“検索”に入力します。

 をクリックすることで、VLAN の高度な検索を行うことができます。“VLAN”、“タグなし Vlan リスト”、“タグ付き Vlan リスト”、“VLAN インタフェースの IP アドレス”、“説明”を入力します。“検索”をクリックします。図 4-17 に VLAN の高度な検索画面を表示します。

高度な検索
✕

VLAN

タグなしVlanリスト

タグ付きVlanリスト

VLANインタフェースのIPアドレス

説明

 検索

リセット

閉じる

図 4-17 VLAN の高度な検索

III. VLAN の削除

VLAN リストで  をクリックすると VLAN を削除します。図 4-18に示すように削除する VLAN を指定し、“適用” をクリックします。

VLAN の行から削除することもできます。  をクリックすると指定した VLAN を削除します。図 4-19に示すような確認ダイアログが表示されます。



図 4-18 VLAN の削除



図 4-19 指定 VLAN の削除

IV. VLAN の追加

VLAN リストで  をクリックすると、VLAN を作成します。図 4-20に示すように追加する VLAN を指定し、“適用” をクリックします。

VLANリストの作成

VLANリスト *

(2-4094、例:3,5,10-100)

適用 キャンセル

図 4-20 VLAN の追加

V. VLAN の変更

をクリックすると VLAN の編集を行うことができます。図 4-21に VLAN の変更画面を表示します。

VLAN ID

1

説明

VLAN 0001 (1~255文字)

VLAN インタフェースの IP アドレス VLAN インタフェースの作成

IPv4 アドレス/マスク 192.168.1.1 / 255.255.255.0

適用 キャンセル

図 4-21 VLAN の変更画面

VI. VLAN の説明の設定

図 4-21に示すように VLAN の変更画面で VLAN の説明を“説明”に入力します。”適用”をクリックします。

VII. VLAN インタフェースの IP アドレスの設定

図 4-21に示すように VLAN の変更画面で“VLAN インタフェースの作成”を選択します。

“IPv4 アドレス／マスク” に IP アドレス、マスクを入力します。

“適用” をクリックします。

4.3 ルーティングの設定、表示

4.3.1 ルーティングテーブルの設定、表示

1. ルーティングテーブルの表示

ネットワーク構成サブメニューで“ネットワークルーティング”を選択します。“ルーティングテーブル”をクリックします。図 4-22に示すように、ルーティングテーブルの数が表示されます。

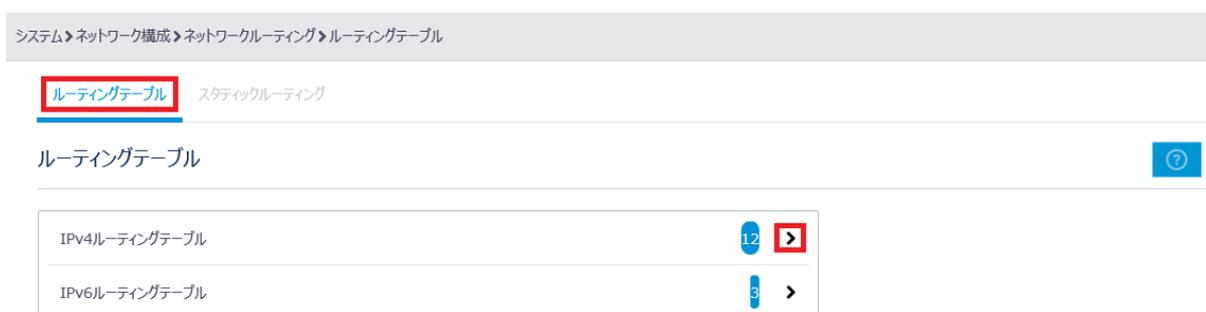


図 4-22 ルーティングテーブルの数

“IPv4 ルーティングテーブル”の右の右矢印をクリックすると、図 4-23に示すようなルーティングテーブルが表示されます。

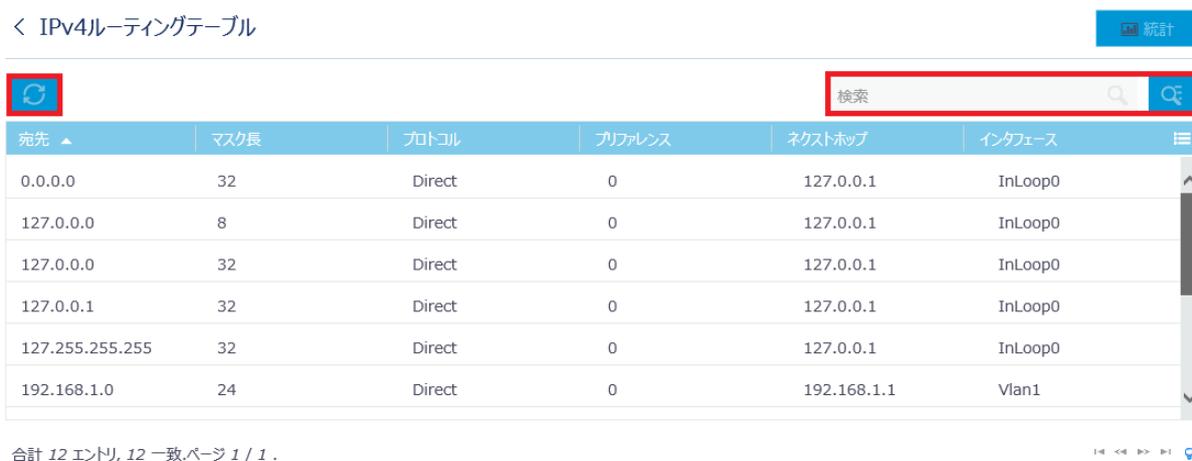


図 4-23 ルーティングテーブル

ルーティングテーブルで  をクリックすると、ルーティングテーブル情報の更新を行います。

II. ルーティングテーブルの検索

ルーティングテーブルを検索することができます。検索したいルーティングテーブルを“検索”に入力します。

 をクリックすることで、ルーティングテーブルの高度な検索を行うことができます。“宛先”“マスク長”“プロトコル”“プリファレンス”“ネクストホップ”“インターフェース”を選択、入力します。“検索”をクリックします。図 4-24にルーティングテーブルの高度な検索画面を表示します。

高度な検索×

宛先	<input style="width: 90%;" type="text"/>
マスク長	<input style="width: 90%;" type="text"/>
プロトコル	<input style="width: 90%;" type="text"/> ▼
プリファレンス	<input style="width: 90%;" type="text"/>
ネクストホップ	<input style="width: 90%;" type="text"/>
インターフェース	<input style="width: 90%;" type="text"/>

Q 検索

リセット

閉じる

図 4-24 ルーティングテーブルの高度な検索

4.3.2 スタティックルーティングの設定、表示

I. スタティックルーティングの表示

ネットワーク構成サブメニューで“ネットワークルーティング”を選択します。“スタティックルーティング”をクリックします。図 4-25に示すように、スタティックルーティングの数が表示されます。

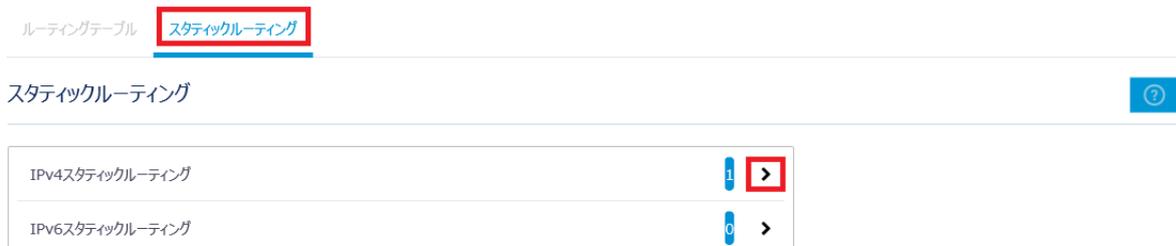


図 4-25 スタティックルーティングの数

“IPv4 スタティックルーティング”の > をクリックすると、図 4-26に示すようなスタティックルーティングのリストを表示します。

The screenshot shows a table with columns: 宛先, マスク長, プリファレンス, ネクストホップ, インタフェース, タグ, 説明, アクション. The first row is highlighted with a red border and contains the following data: 0.0.0.0, 0, 60, 192.168.1.104, 0. There are also search and refresh icons at the top of the table.

宛先	マスク長	プリファレンス	ネクストホップ	インタフェース	タグ	説明	アクション
0.0.0.0	0	60	192.168.1.104		0		[Refresh] [Delete]

図 4-26 スタティックルーティングのリスト

スタティックルーティングのリストで [Refresh] をクリックすると、スタティックルーティング情報の更新を行います。

II. ルーティングテーブルの検索

スタティックルーティングを検索することができます。検索したいスタティックルーティングを“検索”に入力します。

[Search] をクリックすることで、ルーティングテーブルの高度な検索を行うことができます。“宛先”、“マスク長”、“プリファレンス”、“ネクストホップ”、“インタフェース”、“タグ”、“説明”を入力します。“検索”をクリックします。図 4-27にスタティックルーティングの高度な検索画面を表示します。

高度な検索✕

宛先	<input type="text"/>
マスク長	<input type="text"/>
プリファレンス	<input type="text"/>
ネクストホップ	<input type="text"/>
インタフェース	<input type="text"/>
タグ	<input type="text"/>
説明	<input type="text"/>

Q検索リセット閉じる

図 4-27 スタティックルーティングの高度な検索

III. スタティックルーティングの追加

スタティックルーティングで  をクリックすると、スタティックルーティングを作成します。

- 1) 図 4-28に示すように“送信先 IP アドレス”、“マスク長”、“ネクストホップ”、“プリファレンス”、“タグ”、“説明”を選択、入力します。
- 2) “適用”をクリックします。

送信先IPアドレス *	<input type="text"/>
マスク長 *	<input type="text"/> (0-32)
ネクストホップ ⚠ *	<input checked="" type="checkbox"/> 出力インタフェース <input type="text" value="選択"/>
	ネクストホップIPアドレス <input type="text"/>
プリファレンス	<input type="text"/> (1-255) ⚠
タグ	<input type="text"/> (0-4294967295,0 (デフォルト)) ⚠
説明	<input type="text"/> (1-60文字)

図 4-28 スタティックルーティングの追加

IV. スタティックルーティングの削除

スタティックルーティングのリストで  をクリックするとスタティックルーティングを削除します。図 4-29に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい” をクリックします。

確認 ×

選択した項目を削除しますか?

図 4-29 スタティックルーティングの削除

4.4 ネットワークサービスの設定、表示

ネットワーク構成サブメニューの“ネットワークサービス”を選択します。図 4-30に示すようなネットワークサービス サブメニューが表示されます。



図 4-30 ネットワークサービス サブメニューの表示

4.4.1 IP サービスの設定、表示

I. IP の設定、表示

ネットワークサービス サブメニューの“IP サービス”を選択します。図 4-31に示すように、IP のリストが表示されます。

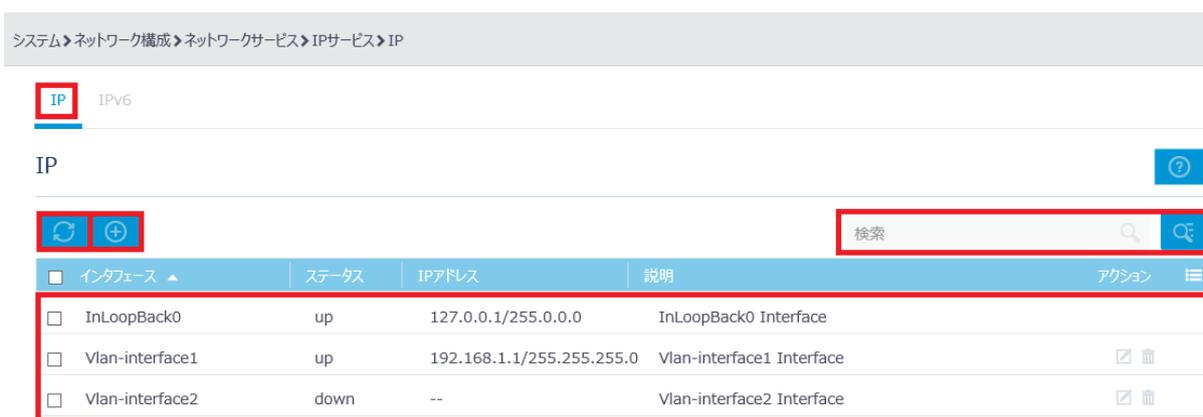


図 4-31 IP リストの表示

をクリックすると、IP リストの更新を行います。

II. IP の検索

IP を検索できます。IP リストで検索したい項目を“検索”に入力します。

をクリックすることで、IP の高度な検索を行うことができます。“インタフェース”、“ステータス”、“IP アドレス”、“説明”を入力します。“検索”をクリックします。図 4-32 に IP の高度な検索画面を表示します。

高度な検索

インタフェース

ステータス

IPアドレス

説明

Q検索 リセット 閉じる

図 4-32 IP の高度な検索

III. IP の削除

 をクリックすると指定した IP を削除します。図 4-33に示すような確認ダイアログが表示されます。

確認

選択した項目を削除しますか?

はい いいえ

図 4-33 指定 IP の削除

IV. IP の追加

IP リストで  をクリックすると、IP を作成します。図 4-34に示すように追加する IP を指定し、“適用” をクリックします。



図 4-34 IP の追加

4.4.2 マルチキャストの設定、表示

I. IGMP snooping の有効化

ネットワーク構成サブメニューで“マルチキャスト”を選択し、“IGMP snooping”をクリックします。“IGMP snooping を有効にする”をクリックします。



図 4-35 IGMP snooping の有効化

II. IGMP snooping の表示

IGMP snooping を有効にした場合、図 4-36に示すような IGMP snooping のリスト画面が表示されます。

IGMP snooping のリスト画面で  をクリックした場合、IGMP snooping が無効になります。

 をクリックすると、IGMP snooping のリストの更新を行います。

“VLAN”、“エントリ” をクリックすることで、それぞれ選択が可能です。図 4-36に示すのは“VLAN” 選択時の表示です。図 4-37に示すのは“エントリ” 選択時の表示です。



図 4-36 IGMP snooping のリスト (VLAN 選択時)



図 4-37 IGMP snooping のリスト (エントリ選択時)

III. IGMP snooping の検索

IGMP snooping を検索することができます。IGMP snooping のリスト画面で検索したい項目を“検索”に入力します。

IGMP snooping のリスト画面で  をクリックすると、IGMP snooping の高度な検索を行うことができます。

図 4-38に示すのは  選択時の高度な検索画面です。“VLAN”、“IGMP Snooping のバージョン”を入力します。“検索”をクリックします。

The screenshot shows a blue header bar with the text '高度な検索' (Advanced Search) and a close button (X). Below the header, there are two input fields: 'VLAN' and 'IGMP snoopingのバージョン' (IGMP snooping version). Both fields are enclosed in a red rectangular box. At the bottom of the dialog, there are three buttons: 'Q検索' (Search), 'リセット' (Reset), and '閉じる' (Close). The 'Q検索' button is highlighted with a red border.

図 4-38 IGMP snooping の高度な検索（VLAN 選択時）

図 4-39に示すのは **エントリ** 選択時の高度な検索画面です。“VLAN”、“グループアドレス”、“送信元アドレス”、“ホストポート”を入力します。“検索”をクリックします。

The screenshot shows a blue header bar with the text '高度な検索' (Advanced Search) and a close button (X). Below the header, there are four input fields: 'VLAN', 'グループアドレス' (Group Address), '送信元アドレス' (Source Address), and 'ホストポート' (Host Port). All four fields are enclosed in a red rectangular box. At the bottom of the dialog, there are three buttons: 'Q検索' (Search), 'リセット' (Reset), and '閉じる' (Close). The 'Q検索' button is highlighted with a red border.

図 4-39 IGMP snooping の高度な検索（エントリ選択時）

IV. VLAN での IGMP snooping の有効化

IGMP snooping のリスト画面で  をクリックすると、VLAN で IGMP snooping を有効にします。

- 1) 図 4-40 に示すように “VLAN”、“IGMP snooping のバージョン”、“不明なマルチキャストデータの削除”、“IGMP クエリアとして動作する”、“IGMP general クエリの間隔”、“IGMP general クエリの送信元 IP アドレス.”、“IGMP グループ固有のクエリの送信元 IP アドレス” を選択、入力します。
- 2) “適用” をクリックします。

システム > ネットワーク構成 > ネットワークサービス > マルチキャスト > IGMP Snooping > VLANでのIGMP Snoopingの有効化

VLAN *	<input type="text" value=""/>	(1-4094)
IGMP snoopingのバージョン	<input type="text" value="2"/>	▼ 
不明なマルチキャストデータの削除	<input type="checkbox"/> 不明なマルチキャストデータの削除を有効にする	
IGMP クエリアとして動作する	<input type="checkbox"/> IGMPクエリアの有効化 	
IGMP generalクエリの間隔	<input type="text" value=""/>	秒 (2-31744、デフォルトでは125)
IGMP generalクエリの送信元IPアドレス	<input type="text" value=""/>	
IGMPグループ固有のクエリの送信元IPアドレス	<input type="text" value=""/>	

図 4-40 VLAN での IGMP snooping の有効化

目次

5章 システム メニュー	5-1
5.1 Syslog 情報	5-2
5.1.1 Syslog 情報の表示	5-2
5.1.2 Syslog 情報の検索	5-3
5.1.3 Syslog 情報の削除	5-4
5.2 ファイルの管理	5-5
5.2.1 ファイルの表示	5-5
5.2.2 ファイルの検索	5-5
5.2.3 ファイルの削除	5-6
5.2.4 ファイルのアップロード	5-7
5.3 ユーザ設定	5-7
5.3.1 ユーザリストの表示	5-7
5.3.2 ユーザリストの検索	5-8
5.3.3 ユーザの編集・削除・追加	5-9
5.4 装置管理	5-11
5.4.1 装置情報、日付と時刻の設定	5-11
5.4.2 コンフィグレーションファイルの管理	5-14
5.4.3 ソフトウェアのアップグレード	5-20
5.4.4 装置の再起動	5-22
5.4.5 装置情報	5-24

5章 システム メニュー

本章ではシステム表示のシステムの設定について説明します。図 5-1に示すように、システム表示が選択されていることを確認してください。



図 5-1 システム表示の選択

図 5-1に示すシステム表示での設定メニューで“システム”をクリックします。図 5-2に示すようなシステム サブメニューが表示されます。



図 5-2 システム メニューの選択

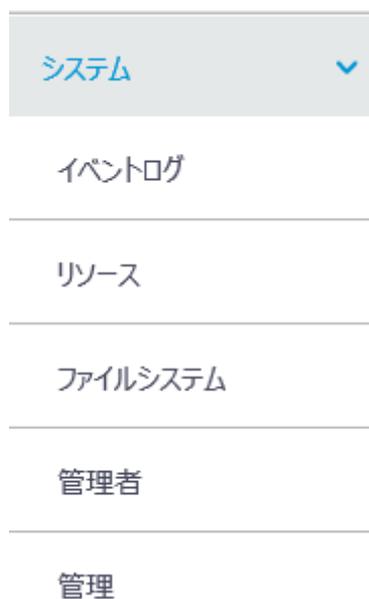


図 5-3 システム サブメニュー

5.1 Syslog情報

5.1.1 Syslog 情報の表示

システム サブメニューで“イベントログ”を選択します。図 5-4に示すような Syslog 情報が表示されます。

“時間”、“レベル”、“説明”をクリックすることで項目ごとにソートすることができます。

 をクリックすると、Syslog 情報の更新を行います。

 をクリックすると Syslog の詳細情報を表示することができます。図 5-5に Syslog の詳細情報を表示します。

“適用”をクリックすると、Syslog の情報画面に戻ります。

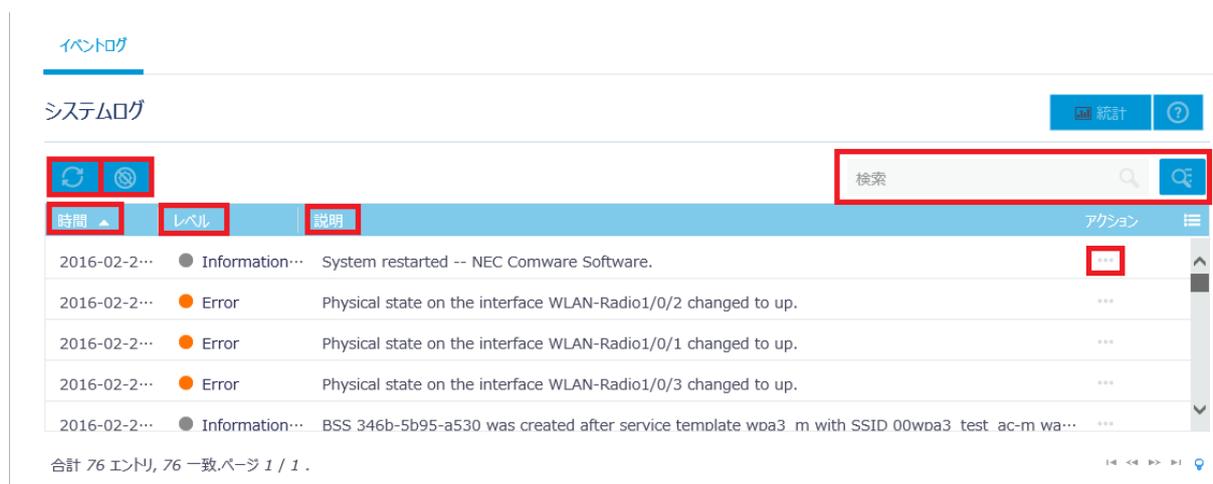


図 5-4 Syslog 情報

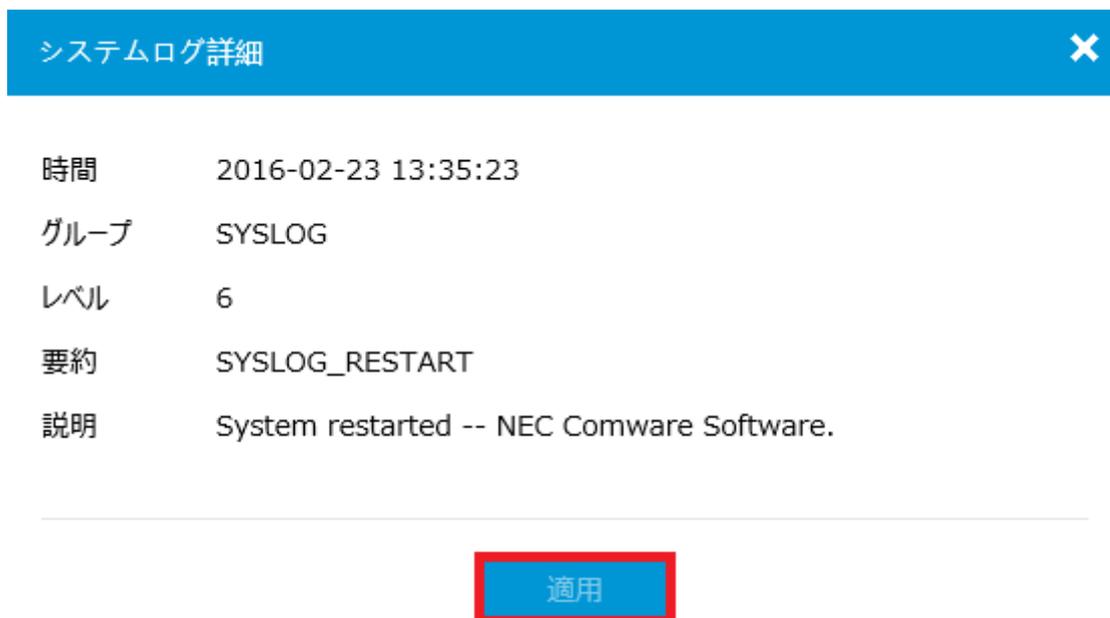


図 5-5 Syslog 詳細情報

5.1.2 Syslog 情報の検索

Syslog 情報を検索することができます。Syslog 情報画面で、warning など検索したい項目を“検索”に入力します。

Syslog 情報画面で  をクリックすることで、Syslog 情報の高度な検索を行うことができます。“時間”、“レベル”、“説明”を選択、入力します。“検索”をクリックします。0 に Syslog の高度な検索画面を表示します。

高度な検索✕

時間	<input type="text"/>
レベル	<input type="text"/> ▼
説明	<input type="text"/>

Q検索

リセット

閉じる

図 5-6 Syslog 情報の高度な検索

5.1.3 Syslog 情報の削除

右上の  をクリックすると全 Syslog 情報を削除します。図 5-7に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい” をクリックします。

確認✕

すべての項目をクリアしますか?

はい

いいえ

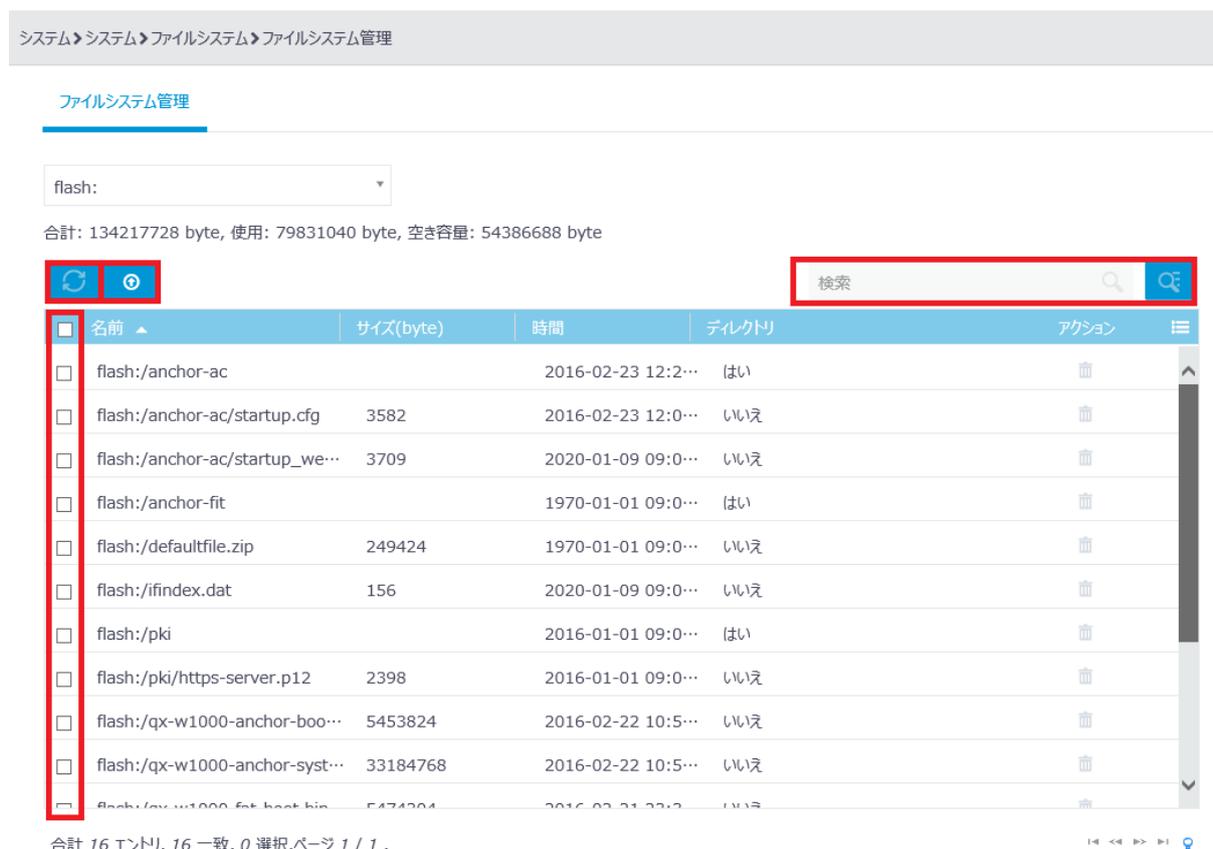
図 5-7 全 Syslog 情報の削除

5.2 ファイルの管理

5.2.1 ファイルの表示

システム サブメニューで“ファイルシステム”を選択します。図 5-8に示すようにフラッシュメモリのファイル画面が表示されます。

ファイル画面で  をクリックすると、ファイル画面の更新を行います。



システム > システム > ファイルシステム > ファイルシステム管理

ファイルシステム管理

flash:

合計: 134217728 byte, 使用: 79831040 byte, 空き容量: 54386688 byte

<input type="checkbox"/>	名前 ▲	サイズ(byte)	時間	ディレクトリ	アクション
<input type="checkbox"/>	flash:/anchor-ac		2016-02-23 12:2...	はい	🗑
<input type="checkbox"/>	flash:/anchor-ac/startup.cfg	3582	2016-02-23 12:0...	いいえ	🗑
<input type="checkbox"/>	flash:/anchor-ac/startup_we...	3709	2020-01-09 09:0...	いいえ	🗑
<input type="checkbox"/>	flash:/anchor-fit		1970-01-01 09:0...	はい	🗑
<input type="checkbox"/>	flash:/defaultfile.zip	249424	1970-01-01 09:0...	いいえ	🗑
<input type="checkbox"/>	flash:/ifindex.dat	156	2020-01-09 09:0...	いいえ	🗑
<input type="checkbox"/>	flash:/pki		2016-01-01 09:0...	はい	🗑
<input type="checkbox"/>	flash:/pki/https-server.p12	2398	2016-01-01 09:0...	いいえ	🗑
<input type="checkbox"/>	flash:/qx-w1000-anchor-boo...	5453824	2016-02-22 10:5...	いいえ	🗑
<input type="checkbox"/>	flash:/qx-w1000-anchor-syst...	33184768	2016-02-22 10:5...	いいえ	🗑
<input type="checkbox"/>	flash:/qx-w1000-fit-host-bin	5474204	2016-02-21 22:2...	いいえ	🗑

合計 16 エントリ, 16 一致, 0 選択. ページ 1 / 1 .

図 5-8 ファイルの表示

5.2.2 ファイルの検索

ファイルを検索することができます。ファイルの表示画面で、config.cfg などの検索したい項目を“検索”に入力します。

ファイルの表示画面で  をクリックすることで、ファイルの高度な検索を行うことができます。“名前”、“サイズ (byte)”、“時間”、“ディレクトリ”を入力します。“検索”をクリックします。図 5-9にファイルの高度な検索画面を表示します。

高度な検索✕

名前	<input type="text"/>
サイズ(byte)	<input type="text"/>
時間	<input type="text"/>
ディレクトリ	<input type="text"/>

🔍 検索

リセット

閉じる

図 5-9 ファイルの高度な検索

5.2.3 ファイルの削除

ファイルの表示画面で削除するファイルを選択します。図 5-10に示すようなファイルの削除画面が表示されます。“削除”をクリックすると、図 5-11に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい”をクリックします。

ファイルシステム管理

flash: ▾

合計: 134217728 byte, 使用: 79831040 byte, 空き容量: 54386688 byte

🔄 🔒

検索 🔍

<input type="checkbox"/>	名前 ▲	サイズ(byte)	時間	ディレクトリ	アクション
<input checked="" type="checkbox"/>	flash:/qx-w1000-fat-boot.bin	5474304	2016-02-21 23:38:22	いいえ	🗑️
<input type="checkbox"/>	flash:/qx-w1000-fat-system.bin	34085888	2016-02-21 23:38:44	いいえ	🗑️
<input type="checkbox"/>	flash:/startup.cfg	3582	2016-02-23 12:02:40	いいえ	🗑️
<input type="checkbox"/>	flash:/startup.mdb	67858	2016-02-23 12:02:40	いいえ	🗑️

合計 16 エントリ, 16 一致, 1 選択 ページ 1 / 1 .

削除

📄 ダウンロード

図 5-10 ファイルの削除



図 5-11 ファイルの削除確認ダイアログ

5.2.4 ファイルのアップロード

ファイルをフラッシュメモリにアップロードすることができます。ファイルの表示画面で  をクリックすると、図 5-12に示すようなフラッシュメモリのアップロード画面が表示されます。フラッシュメモリのアップロード画面でアップロードするファイルを選択します。



図 5-12 フラッシュメモリのアップロード

5.3 ユーザ設定

5.3.1 ユーザリストの表示

システム サブメニューで“管理者”を選択します。図 5-13に示すようなユーザリストが表示されます。

ユーザリストで  をクリックすると、ユーザリストの更新を行います。



図 5-13 ユーザリストの表示

5.3.2 ユーザリストの検索

ユーザを検索することができます。ユーザリストで検索したい項目を“検索”に入力します。

 をクリックすることで、ユーザの高度な検索を行うことができます。

- 1) “ユーザ名”、“ユーザロール”、“許可されているアクセスタイプ”を入力します。
- 2) “検索”をクリックします。

図 5-14に管理者の高度な検索画面を表示します。

高度な検索 ×

ユーザ名

ユーザロール

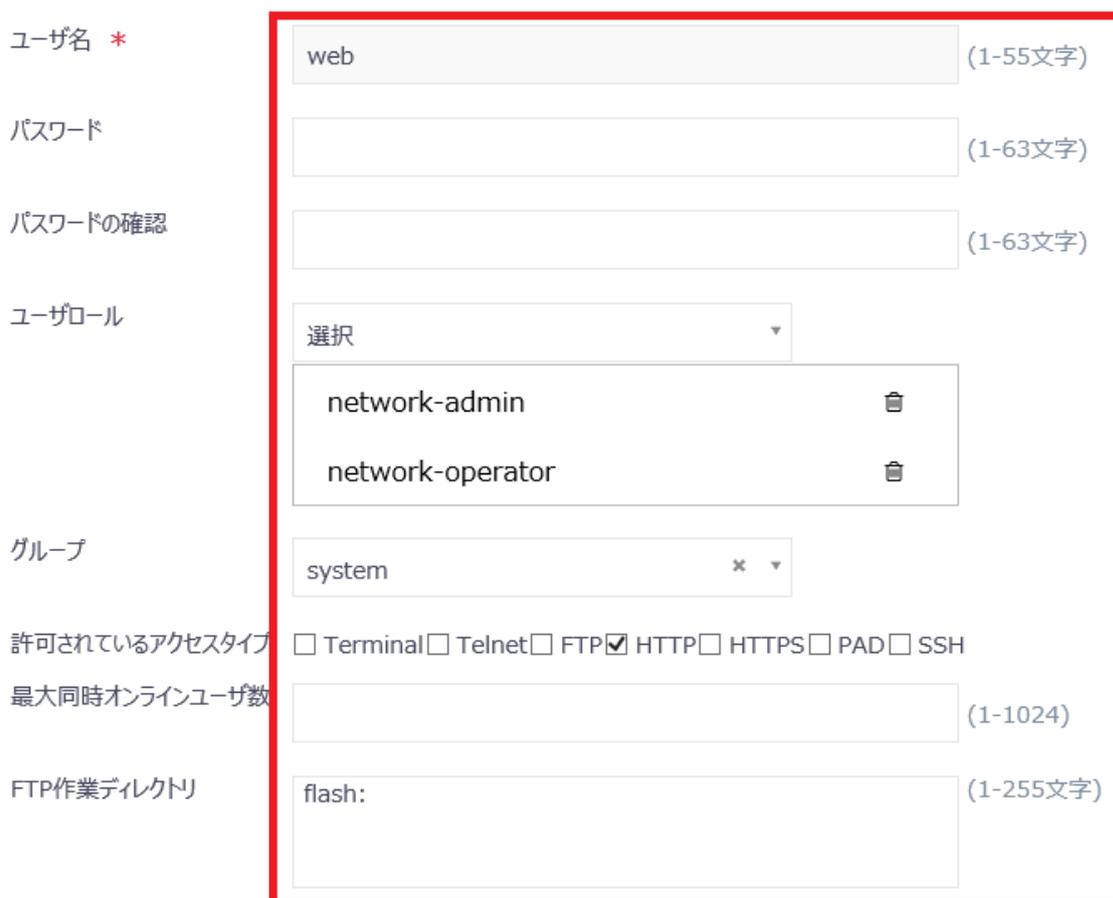
許可されているアクセスタイプ

図 5-14 管理者の高度な検索

5.3.3 ユーザの編集・削除・追加

I. ユーザの編集

編集するユーザの  をクリックします。図 5-15に示すような編集画面に移行します。編集したい項目に記入した後、“適用” をクリックします。



ユーザ名 *	<input type="text" value="web"/>	(1-55文字)
パスワード	<input type="password"/>	(1-63文字)
パスワードの確認	<input type="password"/>	(1-63文字)
ユーザロール	<div>選択 ▼ network-admin  network-operator </div>	
グループ	<input type="text" value="system"/>	
許可されているアクセスタイプ	<input type="checkbox"/> Terminal <input type="checkbox"/> Telnet <input type="checkbox"/> FTP <input checked="" type="checkbox"/> HTTP <input type="checkbox"/> HTTPS <input type="checkbox"/> PAD <input type="checkbox"/> SSH	
最大同時オンラインユーザ数	<input type="text"/>	(1-1024)
FTP作業ディレクトリ	<input type="text" value="flash:"/>	(1-255文字)

高度な設定の表示

図 5-15 ユーザ編集画面

II. ユーザの削除

削除するユーザの  をクリックします。図 5-16に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい” をクリックします。



図 5-16 ユーザの削除確認ダイアログ

III. ユーザの追加

ユーザを追加することができます。ユーザリストで  をクリックすると、図 5-17に示す新規ユーザ追加画面に移行します。追加するユーザの情報を記入後、“適用”をクリックします。

ユーザ名 *	<input type="text"/>	(1-55文字)
パスワード	<input type="text"/>	(1-63文字)
パスワードの確認	<input type="text"/>	(1-63文字)
ユーザロール	<input type="text" value="選択"/>	
グループ	<input type="text" value="選択"/>	
許可されているアクセスタイプ	<input type="checkbox"/> Terminal <input type="checkbox"/> Telnet <input type="checkbox"/> FTP <input type="checkbox"/> HTTP <input type="checkbox"/> HTTPS <input type="checkbox"/> PAD <input type="checkbox"/> SSH	
最大同時オンラインユーザ数	<input type="text"/>	(1-1024)
FTP作業ディレクトリ	<input type="text" value="flash:"/>	(1-255文字)

高度な設定の表示

<input type="button" value="適用"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>
-----------------------------------	--------------------------------------

図 5-17 新しい管理者追加画面

5.4 装置管理

システム サブメニューで“管理”を選択します。

5.4.1 装置情報、日付と時刻の設定

“設定”を選択します。図 5-18に示すような装置情報の設定メニューが表示されます。



図 5-18 装置情報の設定メニュー

1. 装置情報の設定

装置情報の設定メニューの“デバイス情報”の > をクリックすると、図 5-19に示すような装置情報の設定を表示します。

“デバイス名”、“デバイスの場所”、“お問い合わせ先”を入力し、“適用”をクリックします。

“管理” をクリックすると、装置情報の設定メニュー画面に戻ります。



図 5-19 装置情報の設定

II. 日時の設定

装置情報の設定メニュー“日付と時刻”の  をクリックすると、図 5-20に示すような設定を行います。

“管理”をクリックすると、装置情報の設定メニュー画面に戻ります。

- 1) “日時を設定する”で“時刻を手動設定する”、あるいは“ネットワーク上の信頼できる時刻ソースと時刻を自動的に同期する”を選択します。
 - 手動で日時を指定する場合、“時刻を手動で設定する”を選択します。日付を設定する場合、 をクリックします。図 5-21に示すようにカレンダー表示で日付を設定することができます。 をクリックし、図 5-22に示すように時刻を設定します。
 - NTP を使用する場合、“ネットワーク上の信頼できる時刻ソースと時刻を自動的に同期する”を選択します。
- 2) “タイムゾーン”で“Tokyo (GMT+09:00)”を選択します。
- 3) “サマータイム”でサマータイムを設定します。
- 4) “適用”をクリックします。

システム > システム > **管理** > 設定

システム時刻 16:58:26
01/09/2020

日時を設定する 時刻を手動で設定する

2020-01-09 

16:57:39 

ネットワーク上の信頼できる時刻ソースと時刻を自動的に同期する

タイムゾーン Tokyo (GMT+09:00) 

サマータイム サマータイムに合わせて時刻を調整する 

適用

図 5-20 日付と時刻の設定

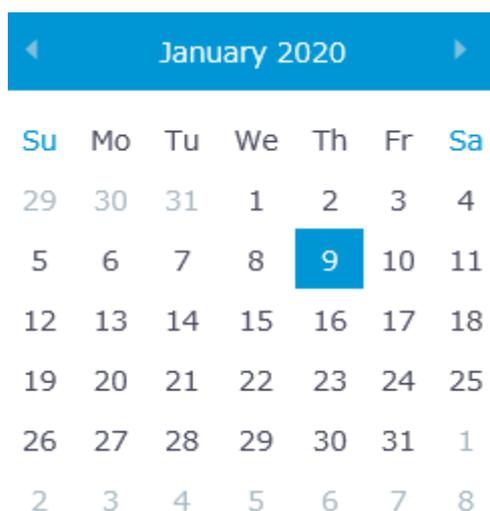


図 5-21 カレンダー表示

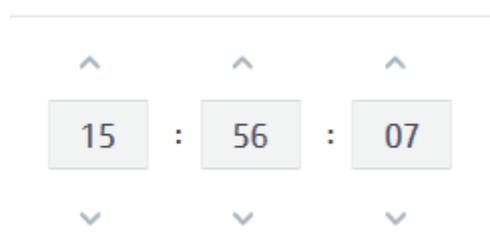


図 5-22 時刻の設定

5.4.2 コンフィグレーションファイルの管理

I. コンフィグレーションファイルの管理メニュー

“設定” を選択します。図 5-23に示すようなコンフィグレーションの管理メニューが表示されます。



図 5-23 コンフィグレーションの管理メニュー

II. カレントコンフィグレーションの表示

コンフィグレーションの管理メニューで“ランニングコンフィグレーションの表示”の > をクリックすると、図 5-24に示すようにカレントコンフィグレーションを表示します。

“設定” をクリックするとコンフィグレーションの管理メニューに戻ります。

システム>システム<管理>設定

```
1. #
2. version 7.2.19
3. #
4. sysname QX-W1030
5. #
6. clock timezone Tokyo add 09:00:00
7. clock protocol ntp
8. #
9. undo copyright-info enable
10. #
11. wlan global-configuration
12. #
13. igmp-snooping
14. #
15. loopback-detection interval-time 5
16. #
17. password-recovery enable
18. #
19. vlan 1
20. #
21. vlan 2
22. igmp-snooping enable
23. #
24. wlan service-template wpa3
25. ssid 00wpa3_test_ac
26. client forwarding-location ap
27. akm mode psk
28. preshared-key pass-phrase cipher $c$3$eksSFRFqV9H8A8QgZzuDxkfUPRDQsd+yVwui
29. cipher-suite ccmp
30. security-ie rsn
31. wpa3 personal optional
32. pmf optional
33. service-template enable
34. #
```

図 5-24 カレントコンフィグレーションの表示

III. カレントコンフィグレーションの保存

コンフィグレーションの管理メニューで“ランニングコンフィグレーションの保存”をクリックすると、図 5-25に示すように装置のフラッシュメモリにカレントコンフィグレーションを保存します。

保存するファイルを次回の起動に使用するコンフィグレーション、あるいはファイル名を指定し、“適用”をクリックします。



図 5-25 カレントコンフィギュレーションの保存

IV. カレントコンフィギュレーションのバックアップ

コンフィギュレーションの管理メニューで“ランニングコンフィギュレーションのエクスポート”をクリックすると、図 5-26に示すようにコンフィギュレーションファイルの確認ダイアログが表示されます。

- 1) “保存”をクリックします。図 5-27に示すようにダウンロードファイルの処理を促すダイアログが表示されます。
- 2) “フォルダを開く”をクリックします。図 5-28に示すように“startup.cfg”ファイルが保存されたフォルダを表示します。



図 5-26 コンフィギュレーションファイルの確認ダイアログ



図 5-27 コンフィギュレーションファイルの処理ダイアログ

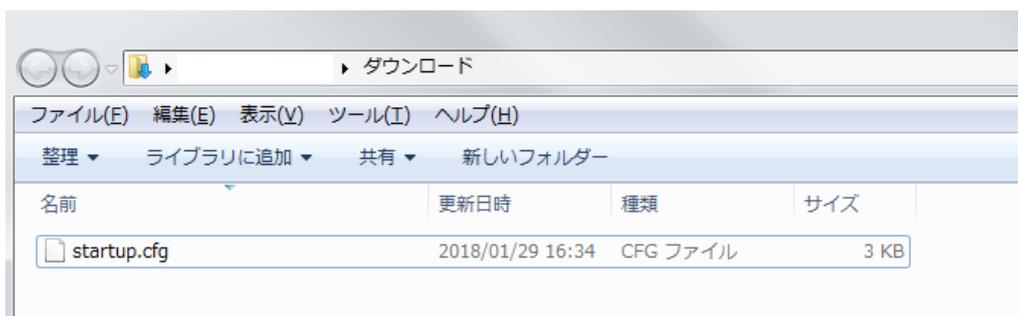


図 5-28 ダウンロードフォルダ

V. コンフィグレーションファイルの復元

コンフィグレーションの管理メニューで“コンフィグレーションのインポート”をクリックすると、図 5-29に示すような画面が表示されます。



図 5-29 コンフィグレーションファイルの復元

図 5-30に示すようにコンフィグレーションファイルの選択画面でダウンロードするファイルを選択します。

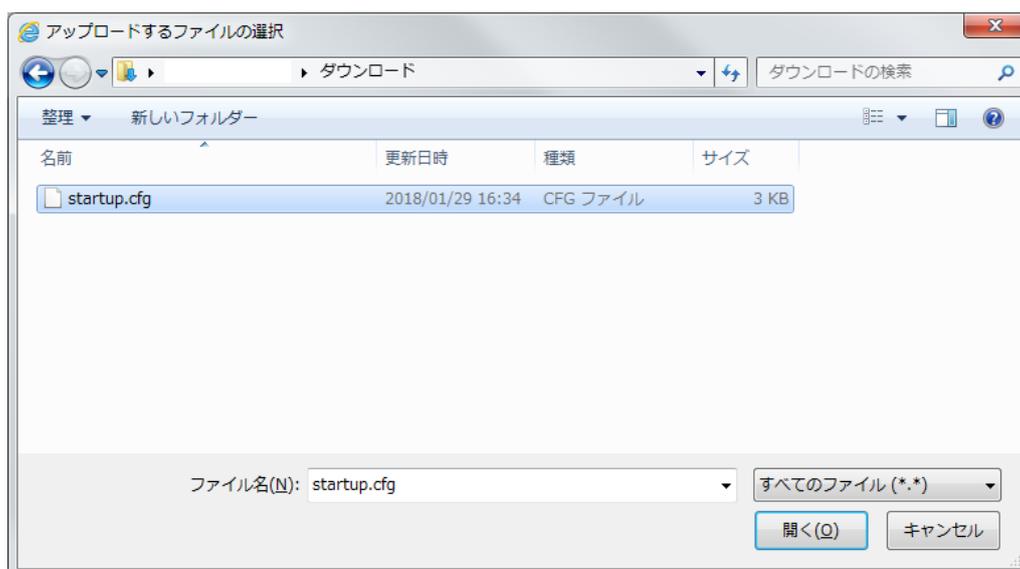


図 5-30 コンフィグレーションファイルの選択

VI. 設定の初期化

コンフィグレーションの管理メニューで“出荷時のデフォルト状態にリセット”の  をクリックすると、図 5-31に示すような画面が表示されます。

“リセット”をクリックすると、図 5-32に示すような確認ダイアログが表示されます。“適用”をクリックします。装置の再起動が行われます。

“管理”をクリックするとコンフィグレーションの管理メニューに戻ります。



図 5-31 設定の初期化

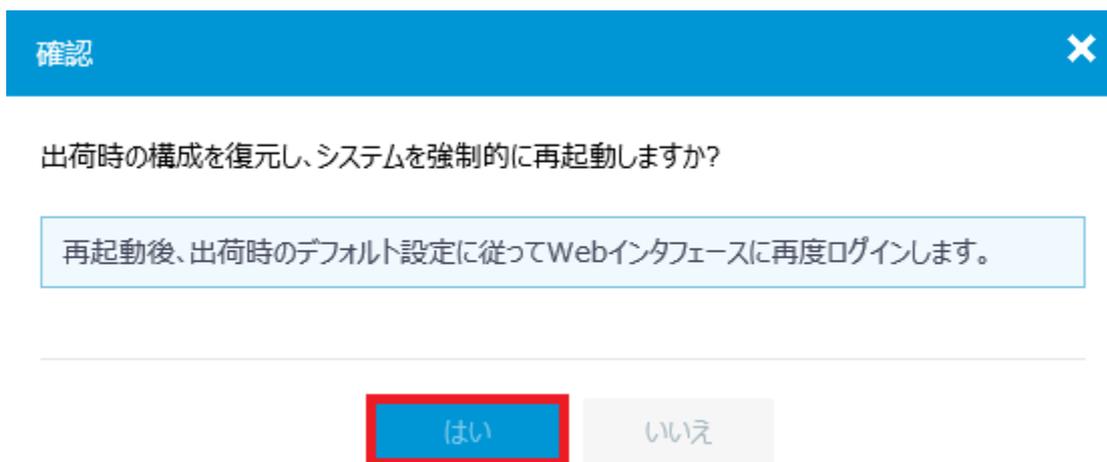


図 5-32 設定の初期化の確認ダイアログ

5.4.3 ソフトウェアのアップグレード

- 1) “アップグレード” を選択します。図 5-33に示すようなソフトウェアイメージのアップグレード画面が表示されます。



図 5-33 ソフトウェアイメージのアップグレード

- 2) “アップグレード” をクリックすると、図 5-34に示すようなソフトウェアイメージの選択画面が表示されます。



図 5-34 ソフトウェアファイルの選択

- ソフトウェアイメージを参照し、“適用” をクリックすると、ソフトウェアイメージのアップグレードを行います。
- 装置の再起動が行われた後、Web ブラウザから再度ログインしてください。

ソフトウェアイメージのアップグレード画面の“ソフトウェアイメージの表示”で  をクリックすると、図 5-35に示すようにフラッシュメモリの現在のソフトウェアイメージを表示します。

“アップグレード” をクリックするとソフトウェアイメージのアップグレード画面に戻ります。



図 5-35 現在のソフトウェアイメージ

5.4.4 装置の再起動

- 1) “再起動”を選択します。
- 2) 図 5-36に示すような装置の再起動画面が表示されます。“デバイスの再起動”をクリックします。
- 3) 図 5-37に示すような再起動時の確認ダイアログが表示されます。カレントコンフィグレーションを次回の起動に使用するスタートアップコンフィグレーションファイルに保存するため“再起動する前に実行中の構成を保存します。”がチェックされていることを確認します。
- 4) “適用”をクリックします。図 5-38に示すような再起動完了メッセージが表示されます。
- 5) 再度ログインしてください。



図 5-36 装置の再起動

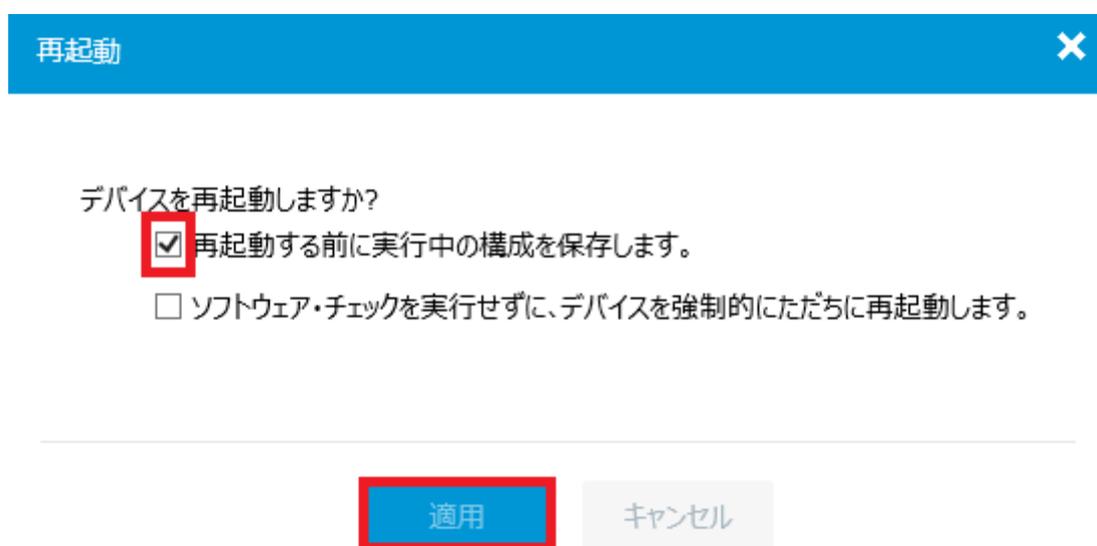


図 5-37 再起動時の確認ダイアログ



図 5-38 再起動完了メッセージ

5.4.5 装置情報

I. 装置情報のメニュー表示

“情報” を選択します。図 5-39に示すような装置情報のメニュー画面が表示されます。



図 5-39 装置情報のメニュー画面

II. 装置名の表示

“デバイス”の > をクリックします。図 5-40に示すような装置名表示画面に移行します。

“管理” をクリックすると装置情報のメニュー画面に戻ります。



図 5-40 装置名表示画面

III. 装置バージョンの表示

“バージョン”の > をクリックします。図 5-41に示すような装置バージョン表示画面に移行します。

“管理” をクリックすると装置情報のメニュー画面に戻ります。

システム>システム>管理>情報

Comware Software, Version 7.2.19
Copyright (c) 2004-2019 New H3C Technologies Co., Ltd. All rights reserved.
QX-W1030 uptime is 0 weeks, 1 day, 21 hours, 28 minutes
Last reboot reason : User soft reboot

Boot image: flash:/qx-w1000-anchor-boot.bin
Boot image version: 7.2.19
Compiled Dec 19 2019 16:00:00
System image: flash:/qx-w1000-anchor-system.bin
System image version: 7.2.19
Compiled Dec 19 2019 16:00:00

with 1 ARM 710MHz Processor
512M bytes DDR3
4M bytes NorFlash Memory
128M bytes NandFlash Memory

Hardware Version is Ver.B
Basic Bootrom Version is 1.00
Extend Bootrom Version is 1.05
[Subslot 0]QX-W1030 Hardware Version is Ver.B
[SLOT 1]GE1/0/1 (Hardware)Ver.B, (Driver)1.0
[SLOT 1]GE1/0/2 (Hardware)Ver.B, (Driver)1.0
[SLOT 1]RADIO1/0/1 (Hardware)Ver.B, (Driver)1.0
[SLOT 1]RADIO1/0/2 (Hardware)Ver.B, (Driver)1.0
[SLOT 1]RADIO1/0/3 (Hardware)Ver.B, (Driver)1.0

図 5-41 装置バージョン表示画面

目次

6 章 ツールメニュー	6-1
6.1 デバッグ	6-2
6.1.1 診断情報の収集	6-2

6章 ツールメニュー

本章ではシステム表示のツールの設定について説明します。図 6-1に示すように、システム表示が選択されていることを確認してください。



図 6-1 System View の選択

図 6-2に示すシステム表示での設定メニューで“ツール”をクリックします。図 6-3に示すようなツール サブメニューが表示されます。



図 6-2 ツールメニューの選択



図 6-3 ツール サブメニュー

6.1 デバッグ

6.1.1 診断情報の収集

- 1) ツール サブメニューで“デバッグ”を選択します。
- 2) 図 6-4に示すような診断情報の収集画面が表示されます。“収集”をクリックすると、図 6-5に示すように診断情報の確認ダイアログが表示されます。
- 3) “保存”をクリックします。図 6-6に示すように診断情報の処理を促すダイアログが表示されます。
- 4) “フォルダを開く”をクリックします。図 6-7に示すように診断情報ファイルが保存されたフォルダを表示します。

圧縮されたファイルを展開することで、テキストエディタで診断情報ファイルを表示することができます。



図 6-4 診断情報の収集

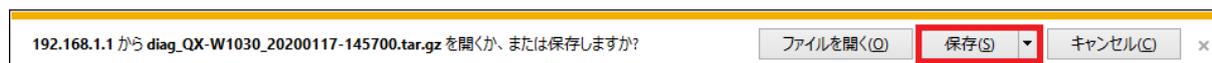


図 6-5 診断情報の確認ダイアログ



図 6-6 診断情報の処理ダイアログ

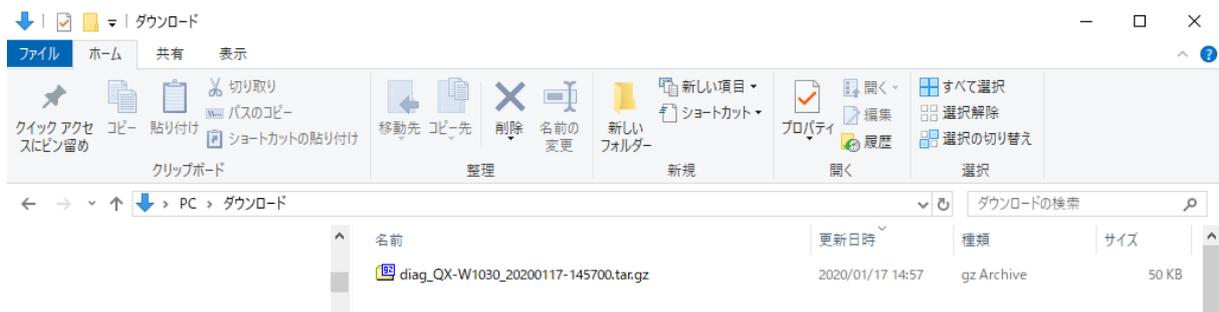


図 6-7 診断情報のダウンロードフォルダ

目次

7章 クイックスタートメニュー	7-1
7.1 AP の指定.....	7-2
7.2 SSID の設定	7-3

7章 クイックスタートメニュー

本章ではネットワーク表示のクイックスタート設定について説明します。図 7-1に示すように、ネットワーク表示が選択されていることを確認してください。



図 7-1 ネットワーク表示の選択

図 7-2に示すネットワーク表示での設定メニューで“クイックスタート”をクリックします。図 7-3に示すようなクイックスタートサブメニューが表示されます。



図 7-2 クイックスタートメニューの選択



図 7-3 クイックスタート サブメニュー

SSID を 3 つ用意して、各無線（5G（W52,53）、5G(W56)、2.4G）に個別の SSID を指定する例を示します。

7.1 APの指定

クイックスタートサブメニューで“AP の追加”を選択します。図 7-4に示すような AP の指定画面が表示されます。

- 1) “AP 名”、“AP モデル”、“シリアル ID”を選択、入力します。図 7-4に示す例では、以下のように指定します。

“AP 名” : ap1

“AP モデル” : QX-W1020

“シリアル ID” : 219801A1JY817BE00014

- 2) “適用”をクリックします。

すべてのネットワーク>クイックスタート>APの追加>APの追加

APの追加

AP名 *	<input type="text" value="ap1"/> (1-64 文字)	AP接続優先度	<input type="text" value="4(継承)"/> (0-7, デフォルト値: 継承)
説明	<input type="text"/> (1-64 文字)	CAPWAPトンネル keepalive	<input type="text" value="10(継承)"/> 秒 (0,5-255, デフォルト値: 継承)
APモデル *	<input type="text" value="QX-W1020"/> * ▾	要求再転送	<input type="text" value="5(継承)"/> 秒 (3-8, デフォルト値: 継承)
● シリアルID	<input type="text" value="219801A1JY817BE00014"/> (1-63 文字)	再転送間隔	<input type="text" value="3(継承)"/> (2-5, デフォルト値を使用します)
○ MAC アドレス	<input type="text" value="HH-HH-HH-HH-HH-HH"/>	再送試行回数	<input type="text" value="50(継承)"/> 秒 (0-240, デフォルト値: 継承)
APグループ名	<input type="text" value="default-group"/>	統計情報報告間隔	<input type="text" value="50(継承)"/> 秒 (0-240, デフォルト値: 継承)
領域コード	<input type="text" value="選択"/> ▾	CAPWAPトンネル暗号化	<input type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> 継承 (オフ)
		ソフトウェアアップグレード	<input type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> 継承 (オン)
		5GHz 無線(1)	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ <input type="radio"/> 継承 (オフ)
		5GHz 無線(2)	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ <input type="radio"/> 継承(オフ)
		2.4GHz 無線(3)	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ <input type="radio"/> 継承(オフ)

図 7-4 AP の指定画面

7.2 SSIDの設定

クイックスタート サブメニューで“サービスの追加”を選択します。図 7-5に示すような SSID の設定画面が表示されます。設定手順を以下に示します。

- 1) “無線サービス名”に サービステンプレート名を入力します。図 7-5に示す例での サービステンプレート名は“service1”です。複数設定する場合、同名を使用することはできません。
- 2) “SSID”を入力します。図 7-5に示す例での SSID は“test1”です。複数設定する場合、同名を使用することはできません。
- 3) “無線サービス”で“オン”を選択します。
- 4) “認証モード”で“スタティックキー (PSK)”を選択します。図 7-5に示すように“セキュリティモード”と“PSK 鍵”が表示されます。
“PSK 鍵”で“Passphrase”を選択し、パスワードを入力します。図 7-5に示す例でのパスワードは“12345678”です。“パスワードの確認”にも同じパスワードを入力します。
- 5) “適用”をクリックします。

設定例としてサービステンプレートおよび SSID を 3 つ用意します。

上記手順の (1)、(2) を繰り返し、サービステンプレート名、SSID 名をそれぞれ “service1”・“test1”、“service2”・“test2”、“service3”・“test3”として、同様に設定します。

サービスの追加

基本設定	認証設定
無線サービス名 * <input type="text" value="service1"/> (1-63 文字)	認証モード <input checked="" type="radio"/> スタティックキー (PSK) <input type="radio"/> 802.1X <input type="radio"/> 802.1X認証 (暗号化なし) <input type="radio"/> スタティックWEP <input type="checkbox"/> MAC認証 <input type="checkbox"/> IPv4 Portal認証 <input type="checkbox"/> IPv6 Portal認証
SSID * <input type="text" value="test1"/> (1-32 文字)	
説明 <input type="text"/> (1-64 文字)	
無線サービス <input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ	認証装置 <input checked="" type="radio"/> Local AC <input type="radio"/> Central AC <input type="radio"/> AP
デフォルトVLAN <input type="text" value="1(デフォルト)"/> (1-4094, デフォルト値: 1)	セキュリティモード <input type="radio"/> WPA <input type="radio"/> WPA2 <input checked="" type="radio"/> WPA or WPA2
SSIDステルス <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	PSK鍵 <input checked="" type="radio"/> Passphrase <input type="radio"/> Rawkey <input type="text" value="●●●●●●●●"/> (8-63 アルファベット文字)
転送タイプ <input type="radio"/> 中央転送モード <input checked="" type="radio"/> ローカル転送モード	<input type="text" value="●●●●●●●●"/> パスワードの確認
VLAN設定 <input type="text"/> (0-4094, 例: 1,3,5-7)	
<input type="button" value="高度な設定と適用"/> <input checked="" type="button" value="適用"/>	

図 7-5 SSID の設定画面

目次

8 章 ワイヤレス構成メニュー	8-1
8.1 AP 管理	8-2
8.1.1 AP の表示	8-2
8.1.2 AP と SSID の関連づけ	8-3
8.1.3 設定の確認	8-5

8章 ワイヤレス構成メニュー

本章ではネットワーク表示のワイヤレス構成設定について説明します。図 8-1 に示すように、ネットワーク表示が選択されていることを確認してください。



図 8-1 Network View の選択

図 8-2 に示すネットワーク表示での設定メニューで“ワイヤレス構成”をクリックします。
図 8-3 に示すようなワイヤレス構成サブメニューが表示されます。



図 8-2 ワイヤレス構成メニューの選択



図 8-3 ワイヤレス構成サブメニュー

8.1 AP管理

8.1.1 AP の表示

I. AP の表示

ワイヤレス構成サブメニューで“AP の管理”を選択します。図 8-4に示すような AP 情報が表示されます。図 8-4に示す例では、自装置と“クイックスタート メニュー”の“AP の指定”で設定した“ap1”が表示されています。

 をクリックすると、AP 情報の更新を行います。

AP名	APタイプ	APモデル	シリアルID	MACアドレス	ラジオ	ステータス	アクション
346b-5b95-a...	Manual AP (E...	QX-W1030	219801A1K09...	34-6B-5B-95-...	3,802.11ac(5G...		
ap1	Manual AP	QX-W1020	219801A1JY81...	N/A	3,802.11ac(5G...		<input checked="" type="checkbox"/>

図 8-4 AP 情報

II. AP の検索

AP を検索できます。AP 情報表示画面で、検索したい項目を入力します。

 をクリックすることで、AP の高度な検索を行うことができます。図 8-5 に AP の高度な検索画面を表示します。

- 1) “AP名”、“APタイプ”、“APモデル”、“シリアルID”、“MACアドレス”、“ラジオ”、“ステータス”を入力します。
- 2) “検索”をクリックします。



高度な検索

AP名

APタイプ

APモデル

シリアルID

MACアドレス

ラジオ

ステータス

検索

リセット

閉じる

図 8-5 AP の高度な検索画面

8.1.2 AP と SSID の関連づけ

“クイックスタートメニュー”の“AP の指定”、“SSID の設定”で設定した AP と SSID を関連づけます。

- 1) AP 名の左側の を選択し、右側の をクリックします。

- 2) “WLAN サービス設定” をクリックします。図 8-6に示すようなサービステンプレート
をラジオに割り当てる設定画面が表示されます。
- 3) をクリックします。図 8-7に示すように、“クイックスタートメニュー” の“SSID
の設定” で設定した SSID が表示されます。使用したい SSID を選択します。
- 4) をクリックし、AP と SSID を関連づけます。図 8-8の①に示す状態になったこと
を確認します。図 8-8の②の状態では関連づけが反映されません。
- 5) “適用” をクリックします。

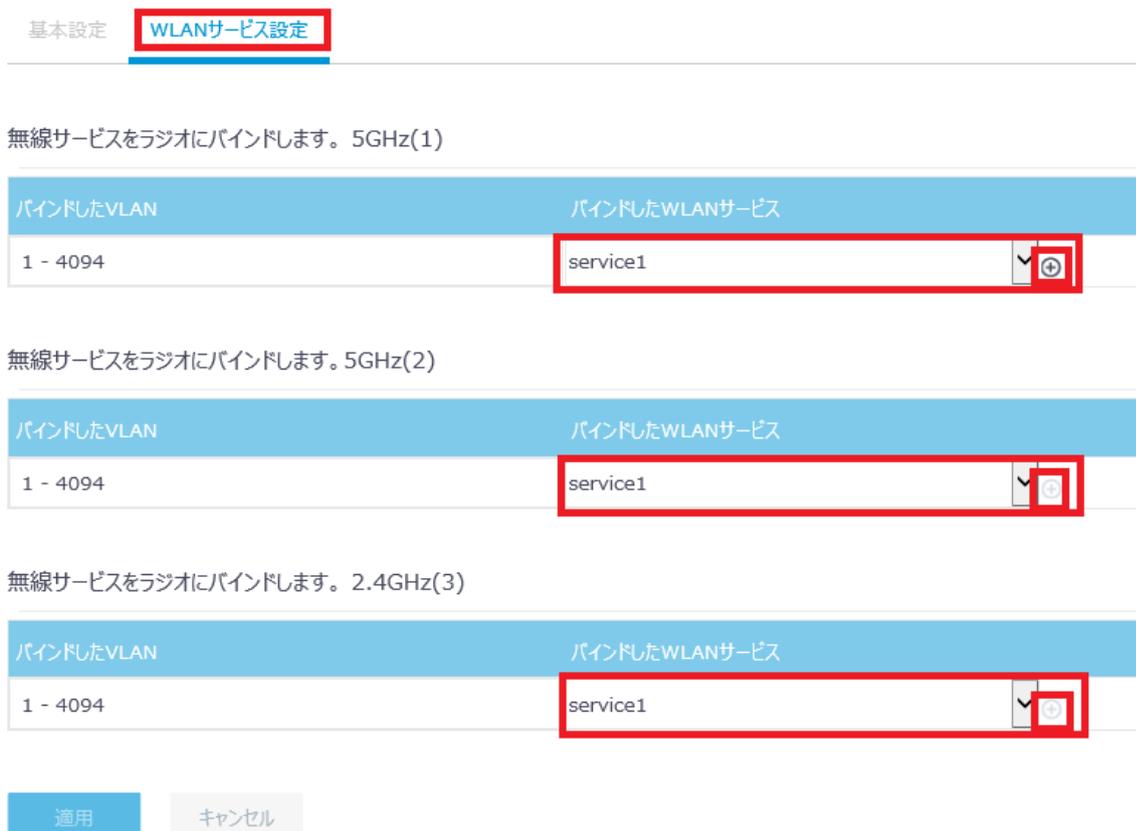


図 8-6 WLAN サービス設定画面 1

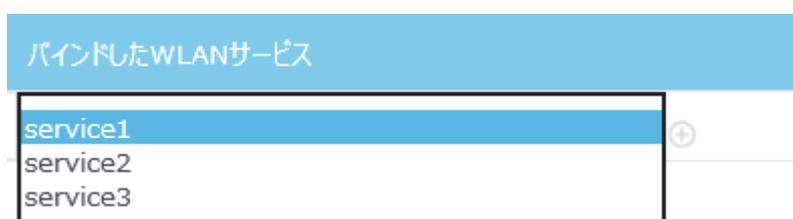


図 8-7 サービステンプレートの選択

基本設定 **WLANサービス設定**

無線サービスをラジオにバインドします。5GHz(1)

バインドしたVLAN	バインドしたWLANサービス
1 - 4094	service1 
	service1  

無線サービスをラジオにバインドします。5GHz(2)

バインドしたVLAN	バインドしたWLANサービス
1 - 4094	service2  

無線サービスをラジオにバインドします。2.4GHz(3)

バインドしたVLAN	バインドしたWLANサービス
1 - 4094	service3  

適用

キャンセル

図 8-8 WLAN サービス設定画面 2

8.1.3 設定の確認

図 8-4に示すの右側のをクリックします。図 8-9に示すような設定確認画面が表示されます。

“戻る” をクリックすると AP 情報表示画面に戻ります。

全般 CAPWAPトンネル

AP名	ap1
APモデル	QX-W1020
APタイプ	手動AP
グループ名	default-group
ステータス	オフライン
シリアルID	219801A1JY817BE00014
MACアドレス	00-00-00-00-00-00
AC IPアドレス	N/A
AP IPアドレス	N/A
APポート番号	N/A
領域コード	日本(JP)
LED mode	Normal
Mapファイル	N/A
ラジオ番号	3
オンライン時間	N/A
クライアント数	N/A
H/Wバージョン	N/A
S/Wバージョン	N/A
Bootバージョン	N/A

ラジオにバインドされた無線サービス

ラジオにバインドされた無線サービス： 5GHz(1)
service1

ラジオにバインドされた無線サービス： 5GHz(2)
service2

ラジオにバインドされた無線サービス： 2.4GHz(3)
service3

戻る

図 8-9 設定確認画面